



Global
現代の志塾 多摩大学
Local



<http://www.tama.ac.jp/>

経営情報学部

【多摩キャンパス】
〒206-0022
東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1
TEL: 042-337-1111(代)

グローバルスタディーズ学部

【湘南キャンパス】
〒252-0805
神奈川県藤沢市円行802番地
TEL: 0466-82-4141(代)

大学院 経営情報学研究科

【品川サテライト・多摩キャンパス】
〒108-0075
東京都港区港南2-14-14
品川インターシティフロント5階
TEL: 03-5769-4170(代)

多摩大学が目指すグローバルとは何か

What is the “glocal” perspective that Tama University

多摩のローカリティを究めることにより、グローバルに目を開く“グローカリティ”という思想を持つ、
多摩地域の活性化をリードするグローバル人材“多摩グローカル人材”を育成します。

This University cultivates “Tama glocal human resources,” global talent that leads revitalization of the Tama region through the study of Tama locality and possesses the outlook of “glocality,” which opens their eyes to the world.

立足多摩地区、放眼全球，培养掌握，“全球化”思维，引导多摩地区发展的“多摩式全球人才”。

多摩大鳥瞰図繪 An aerial view of Tama University / 多摩大学鳥瞰图

<http://www.tama.ac.jp/cooperation/tamagaku.html>

東京都の辺境にある多摩ではなく、日本と世界の中心に多摩を置くと新しい視点が浮かび上がります。東京は出稼ぎにいく場所、羽田空港と横浜港は世界につながるターミナル。日本海の彼方に中国、韓国、北朝鮮、ロシアなどを擁するユーラシア大陸が視野に入ります。鳥の視点で見た鳥瞰図絵から、地域性(ローカリティ)と世界性(グローバリズム)を捉えなおすことができます。

A new perspective emerges when Tama is placed at the center of Japan and the world, rather than on the edge of Tokyo. Tokyo is a place for working away from home. Haneda Airport and the Port of Yokohama are terminals that serve as gateways to the world. Across the Japan Sea, we can see the Eurasian continent and its countries, including China, South Korea, North Korea, and Russia. An aerial picture with a bird's-eye view enables us to gain a different understanding of locality and globalism.

展现出这样一种新的视点，不是位于东京都边缘的多摩，而是将多摩置于日本和世界的中心。东京是外出打工的地方，羽田机场和横滨港是连接世界的站点。在日本海彼岸，包括中国、韩国、朝鲜、俄罗斯在内的欧亚大陆映入眼帘。从飞鸟的视点看到的鸟瞰图像区域，可以让人重新认识到地域性和世界性(Globalism)。



ー カルとは何か

strives for? / 多摩大学の目標—全球本土化究竟指的是什么?

産業社会の問題解決の最前線に立つ
志人材を育てる

経営情報学部

<http://www.tama.ac.jp/faculty/smis/>



グローバルな問題を解決でき、グローバル
な舞台で活躍できる人材を育てる

グローバルスタディーズ学部

<http://www.tama.ac.jp/faculty/sgs/>



一業を起こし、一業をマネジメントできる
人材を育てる

大学院

(MBA / ビジネスデータサイエンスコース)

<http://tgs.tama.ac.jp/>

<http://www.tama.ac.jp/ict/>



多摩大学25周年記念事業 <http://www.tama.ac.jp/guide/25th.html>



- **新ファシリティ建設事業**
● 25周年記念ファシリティ
T-Studio(T-Studio)
1階：学生アメニティの向上のため、セブンイレブン開店
2階：ゼミ・サークルの教育活動や打ち合わせなどに使用できるフリーレイアウトのスペース

New Facility Construction Project:

- 25th Anniversary Commemorative Facility T-Studio
1st Floor: A Seven-Eleven convenience store will open to improve student amenities.
2nd Floor: An open space with furnishings that can be rearranged and used for seminars, educational club activities, meetings, etc.

<新研究棟建設事業>

- 25周年記念研究棟 T-Studio
1层：为给学生提供更舒适的校园生活，开设7-11便利店
2层：配合研讨会或社团的教育及讨论活动是能够自由配置使用的空间

<記念催事>

- 竣工式～多摩大学創立25周年記念式典・講演～
● 出版事業～多摩大学25年教育史～
～ゼミ・サークル・グローバルスタディーズ学部・大学院・研究開発機構の歴史～

Special Commemorative Events:

- Ceremony to celebrate construction completion
— Tama University 25th Anniversary Ceremony & Lecture —
● Publishing projects
— 25 Years of History at Tama University —
— A History of Seminars, Clubs, School of Global Studies, Graduate School, Research and Development —

<記念活動>

- 竣工式～多摩大学創立25周年記念典礼・演讲～
● 出版事業～多摩大学25年教育史～
～研讨会・社团・全球调研学部・研究生院・研究开发机构的历史～

<企画・広報>

- 多摩大学未来歴史館開設
・多摩大の「先駆性」に満ちた歴史
● 地域社会の時代潮流認識と現在における対応、未来のビジョンを周知
● 寺島実郎監修リレー講座リビーターズサロンの開催
● 地域に向けた健康講座など様々な企画や講座の実施
● 多摩市・藤沢市との連携強化
● 多摩学シナポジウムの開催

Planned Projects and Public Relations:

- Tama University Hall of Past and Future
• A history steeped in the pioneer spirit of Tama University
• Tama University's recognition of the changing times and response to the present, communicating a vision of the future
● Holding "Repeating Gatherings" and "Relay Lectures" supervised by Jitsuro Terashima
● Implementing various projects, including community lectures on health, etc.
● Strengthening ties between Tama City and Fujisawa City
● Holding the Tama University Symposium.

<策劃・宣傳>

- 多摩大学未来歴史講堂
・将多摩大学对时代潮流的认识、应对方式、以及对未来的展望进行一个宣传
● 寺島実郎監修巡回讲座开办来访者沙龙
● 实行面向当地民众开放的健康讲座等各类计划
● 强化多摩市与藤泽市的地方联动
● 开办多摩学座谈会

<募金事業>

- 多摩大学創立25周年記念募金事業

Fund Raising Project:

- Fund Raising for the Tama University 25th Anniversary Project

<募捐事業>

- 多摩大学創立25周年纪念事业募捐

INDEX

多摩大学の基本姿勢

- 1 多摩大学が目指すグローカルとは何か 多摩大鳥瞰図繪 / 多摩大学25周年記念事業
3 大学教育の改革者として 多摩大学教育史
5 世界を知る力 学長メッセージ / 多摩学
9 多摩大学の理念 建学の精神・基本理念／使命・目的／個性・特色
11 多摩大学の“志”教育 著出する人材像
13 ゼミ力の多摩大 ブレゼミ／ホームゼミ／プロジェクトゼミ／トライアルゼミ／インターゼミ
15 大学を世界へ繋ぐ 海外研修プログラム／留学・海外インターネット・シップ
17 大学を地域へ繋ぐ 地域連携・産学連携

学びについて

- 19 社会の問題に向き合い、解決を図る 共同研究／専門研究／多摩学電子新書／研究紀要
21 経営情報学部 学部長メッセージ／学びの体系／カリキュラム／教員紹介／キャリアサポート
29 グローバルスタディーズ学部 学部長メッセージ／学びの体系／カリキュラム／教員紹介／キャリアサポート
37 資格取得支援／奨学金制度・学費ローン
39 大学院(MBAコース／ビジネスデータサイエンスコース) 研究科長・コース長メッセージ／学びの体系／教員紹介
43 多摩大学・大学院同窓会 44 卒業生メッセージ 45 田村学園概要図／多摩大学組織概念図
46 研究開発機構 47 データで見る多摩大学／公式Facebook・メールマガジン 49 キャンパス紹介／アクセスマップ

大学教育の改革者として

As Reformers of Academic Education / 大学教育的

改革者们

キーワードで見る 多摩大学教育史

The History of Tama University Seen through Keywords

通过关键字来了解多摩大学的教育史



1989-1995

初代学長期 | 野田 一夫

大学史を画した
多摩大学の誕生



1995

第二代学長期 | 中村 秀一郎

新たな教育改革運動と
初年度基礎教育



1995-2001

第三代学長期 | グレゴリー・クラーク

たくましい学びを求めて



2001-2008

第四代学長期 | 中谷 巍

日本を語れる
グローバル人材を育てる

多摩大学は「国際性」「学際性」「実際性」という

3つの理念のもと建学されました。

従来の米国流資本主義の世界観を見直し、

アジア、ユーラシアを視座に据えた人材育成を行うなど、

産業社会に応えるべく変革を続け、

平成26(2014)年に開学25周年を迎えます。

Tama University was founded on the 3 principles of internationality, interdisciplinarity, and practicality. In 2014, the university is celebrating its 25th anniversary and continues to make changes appropriate to industrial society, including reassessing the conventional world outlook of American-style capitalism and fostering human resources that understand the viewpoints of Asia and Eurasia.

2014年是多摩大学建校25周年。多摩大学基于“国际化”，“学际化”，“实际化”三大理念而办学。我们一改以往的美国式资本主义形式，为适合工业社会而不断进行革新，培养致力于亚洲及欧亚大陆的人才。

●高い志 — 既成概念を打破する大学構想

High Ambitions — A university concept that breaks through preconceived ideas
高志向 — 打破既定观念的大学构想

●学生消費者主義に基づく学生満足度の向上

Improving student satisfaction based on student consumerism
基于学生消费者主义，立志提高学生满意度
無休講、VOICE(学生による授業評価)制度、コア・タイム(オフィスアワー)、講義終了時の拍手、アドバイザー制度、教授会の土曜開催

●斬新な「実学」思考の教育内容

Educational content built on the idea of new "practical learning"
斬新的的“实学”思考式教育
ティーチインの開催、「国際性」「学際性」「実際性」を体现したカリキュラム、自己表現の重視、社会経験豊富な教授陣

●社会に開かれた教育

Education open to the community
面向社会展开的教育
産学協同への方向性 — 公開寄付講座、コミュニティカレッジ、多摩21世紀市民大学、市民教育への取り組み

●ファカルティ・デベロップメントの推進

Promoting faculty development
推进能力开发(Faculty Development)
研究雑誌TIMIS JOURNALの刊行、FRC(教員間の研究論文発表)と授業マネジメント研究会

●新たな教育改革運動と初年度基礎教育

New educational reforms and basic education from the first year
崭新的的教育改革运动和首年度基础教育
TRAP(初年度基礎教育体系)の導入、経営基礎I、情報基礎I、英語教育(ビジネスシミュレーション)

●相対評価制の導入

Introduction of comparative assessment
导入相对评价制

●「第二世代」の教授陣とカリキュラム

"Second-generation" teaching staff and curriculum
“第二代”的教授阵容与教育课程

●語学教育とボランティア活動

Language education and volunteer activities
外语教育与志愿者活动
英語の「暗号解読」授業、ボランティア活動の単位認定

●基礎教育の発展

Development of basic education
基础教育的发展
経営基礎II、情報基礎II

●充実する教育環境

Enriched educational environment
充实的教育环境
国内トップレベルの情報教育環境、SRC(全学的な学生の研究発表会)の開催、キャリア教育、資格取得

多摩大学教育史 <http://www.tama.ac.jp/guide/history/>

1987年 12月	多摩大学教学センター開設	1992年5月～7月	レジャー産業論をはじめ5つの公開寄付講座を新宿京王プラザホテルで開講	1997年 4月	教職課程開設	4月	大学院3コース制へ(MBA、CLO、CROコース)
1988年 4月	多摩大学設置準備室開設	1993年 4月	天津財經大学と学術協定を締結	1998年 3月	多摩大学紀要発刊	2005年 1月	統合リスキマネジメント研究所開設
10月	多摩大学開学センター開設	野田一夫初代学長就任	大学院経営情報学研究科修士課程設置	2006年 2月	第1回SRC(Student Research Conference)開催	2006年 4月	ロジスティクス経営・戦略研究所開設
1989年 4月	東京都多摩市に多摩大学を設置(設置者 学校法人田村学園)	年間講義案導入	多摩21世紀市民大学開講	2001年 9月	中谷巖第四代学長就任	2007年 4月	経営情報学部マネジメントデザイン学科新設
	野田一夫初代学長就任	アドバイザー制度開始	コア・タイム実施	10月	渋谷マークシティWEST17階にルネッサンスセンター開設	2008年 4月	大学院5Kメインによる新カリキュラムスタート
		多摩大学総合研究所開設	多摩大学総合研究所開設	1994年 3月	第1回FRC(Faculty Research Conference)開催	2002年 4月	グローバルスタディーズ学部新設
				1995年 4月	中村秀一郎第二代学長就任	2003年 4月	多摩大学湘南キャンパス開設(神奈川県藤沢市)
			TRAP(TAMA REENGINEERING ACTION PROGRAM)に基づく経営基礎・情報基礎の授業開始	9月	TRAP(TAMA REENGINEERING ACTION PROGRAM)に基づく経営基礎・情報基礎の授業開始	2004年 1月	野田一夫学長代行就任
			大学院経営情報学研究科博士課程設置	10月	品川インターシティA棟27階にルネッサンスセンター移転	2008年 4月	知識リーダーシップ総合研究所開設
				12月	品川インターシティA棟27階にルネッサンスセンター移転	2009年 4月	寺島実郎第五代学長就任
1990年 3月	TIMIS JOURNAL創刊	1996年 4月	グレゴリー・クラーク第三代学長就任				九段サテライトを開設
4月	第1回ティーチイン		暗号解読法による英語教育開始				
10月	退学勧告		情報社会学研究新開設				
12月	第1回コミュニケーション実施						
1991年 4月	第1回VOICE実施						
		320名に増加					

世界を知る力

The ability to understand the world / 认识世界的力量

地域社会に深く根ざした教育機関が育む、柔らかい知性と問題解決能力

Amenable intelligence and problem-solving skills nurtured by an educational institute deeply rooted in regional society

由深深扎根当地的教育机关负责培训，培养教育学生灵活的知性与解决问题的能力

2009-

第五代学長

【学長メッセージ】

寺島 実郎 多摩大学学長

<http://www.tama.ac.jp/terashima/>

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。米国勤務等を経て99年三井物産戦略研究所所長、2009年同会長。また01年一般財団法人日本総合研究所理事長、06年同会長、10年同理事長。現在、文部科学省日中韓大学間交流・連携推進会議委員、経済産業省資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会総合部会委員、国土交通省新たな「国土のグランドデザイン」構築に関する有識者懇談会委員等兼任。1994年石橋湛山賞受賞。主著は『リベラル再生の基軸—脳力のレッスンIV』(岩波書店)、『何のために働くのか—自分を創る生き方』(文春新書)、他多数。



創立25周年を迎える多摩大学は、バブル後の失われた時代、平成という時代と歩みを同じくして歴史を刻んできた大学です。冷戦が終わり、グローバル化とIT革命が進んでいく相関のなかで、社会状況、経営環境が変化するという問題認識を背景に、これから起こる問題を解決できる人材、高い志を抱く人材を輩出し、いわゆる偏差値教育だけではない大学教育の在り方を示し、教育改革をリードしてきました。

いま、世界は「多極化」という表現では收まらない「全員参加型秩序」に向かって動き始めています。いかなる国・民族も胸を張って自己主張し、自分たちの幸福を希求する全員参加の時代。そうしたなかで、これからの日本や

世界を担う人材、現場を支える若い知性を育てるとともに、地域社会に深く根ざした機関として、新たな役割を大学は担わなければなりません。学長就任から5年の歳月を重ね、私は今、その手応えをしっかりと感じています。

学長就任の前年から開講した、学生と社会人を対象とした「リレー講座」は、延べ参加者数が7万人を超え、多くの地域住民の参画と、非常に高いリピート率を誇っています。内向する時代にあって、世界のなかの日本を再考し、歴史を背景に地域を考えていくことの試みは、強い関心を持って社会に受け入れられ、知的インフラとして発展していくものと実感しています。

Tama University, which is celebrating its 25th anniversary, is an institute that has carved out its history as it advanced through the lost years after the collapse of the bubble economy and the period that followed called Heisei. The Cold War ended and the interrelated globalization and IT revolution progressed, and against a backdrop of recognition of problems related to changes in social circumstances and the management environment, our university graduated human resources with high aspirations capable of solving future issues. Tama University has led educational reform and demonstrated what university education should be, rather than simply function as a school of so-called academic cramming.

Today, the world is moving toward a structure where all members participate that cannot adequately be described by the word, "diversification." It is an era of full participation when all countries and peoples confidently assert themselves and seek their own good fortune. Amid this, as an institute deeply rooted in the local community that nurtures human resources that shoulder the future of Japan and the world, and young intellects that support the workplace, our university must undertake a new role. Five years have passed since I became president, and I am keenly aware of my responsibilities and the responses today.

The "Relay Lectures" targeting students and members of society that began when I took up my position last year have welcomed numerous community residents, exceeding 70,000 participants in all, and have enjoyed an extremely high rate of repeat participation. In an age when people turn inward, I really feel that the endeavor to rethink Japan's place in this world and consider the community in light of its history will garner strong interest, be accepted by the community, and develop as an intellectual framework.

迎来创立25周年的多摩大学始建于泡沫经济之后的失落年代，是一所与平成时代共同成长起来的大学。随着冷战的结束，在全球化与IT革命一起与时俱进的同时，本校深刻认识到社会状况与经营环境的不断变迁，培养出了诸多志向高远的人才，展示了摒弃仅凭偏差值来界定学生水平的大学教育方式，走上了引导教育改革的崭新路线。

现在，世界开始走上“全員参加型秩序”的路线，“多極化”一词已经无法将社会完全表现出来。也就是说，要看国家与民族如何证明自己的能力，国民全员如何追求自身的幸福。在这其中，作为深深扎根当地的教育机关，必须要由大学担负起新的责任，负责培养能肩负起日本乃至世界重任的人才，能支撑起整个工作现场的新生知识型人才。我当上校长经过了5年的岁月，现在，我已经深刻感受到自己确实负起了这份责任。

上任的前一年开始，本校还开展了以学生及社会人为对象的“巡回讲座”，至今已经迎来7万余名参加者。但却有诸多当地民众的参与，还拥有非常高的回头率。在这样一个更加关注社会内部的时代里，站在全球的角度重新审视日本，结合历史重新考量地域的这样一种尝试，能够得到民众的支持与社会的接纳，切实感受到了我们付出的努力已经逐步发展成为知识教育的基础。

世界を知る力

The ability to understand the world / 认识世界的力量



リレー講座 <http://www.relay-kouza.net/>

インターゼミ http://www.tama.ac.jp/guide/inter_seminar.html

また、「インターゼミ」では、ゼミ教育中心の多摩大学に相応しい授業として、両学部、大学院を横断的にとらえ、学生、社会人の分け隔てをなくし、フィールドワークと文献研究を中心に、チーム研究によりテーマに立ち向かっています。チームテーマの一つである「多摩学」は、アカデミアの分野で一定の評価を得ると同時に、多摩市・多摩信用金庫との連携にも発展し、地域に根ざした大学の新しい可能性として各方面から期待されています。

今年の秋には、25周年を記念して新しい施設「T-Studio」が竣工します。学生たちが集う施設として、また地域社会に開かれたネットワークの拠点として、活用されていくことになります。

多摩大学は「現代の志塾」という教育理念のもと、徹底的に教員が学生と真摯に向き合ってきました。教育の本質である一対一を実践し、学生のポテンシャルに気づかせ、自信を与え、一丸となって社会に立ち向かっていく。教員が情熱を持って、手作りで人を育てていくという愚直さは、必ず未来を切り拓いていくものと確信しています。これからも多摩大学に、さらに期待してください。

In addition, as classes appropriate to the seminar-focused education at Tama University, the "Inter Seminars" eliminate the distinction between students and members of society and focuses on the themes based on team researches that concentrates on fieldwork and literature research, reviewed through a cross-sectional perspective from both schools in Tama and Shonan, and the Shinagawa graduate school.

"Tama Studies", which is one of the team themes, has received a certain amount of praise in the field of academia, and has also developed collaboration with Tama City and Tama Shinkin Bank. The new possibilities as a university rooted in the community are anticipated from all quarters.

This fall, construction on the new facility, T-Studio will be completed in commemoration of the university's 25th anniversary. It is certain to be utilized as a gathering place for students and a hub for networks created in the regional society.

Tama University is based on the educational ideal of "An Academic Institute of Ambition." Our teachers are committed to profound interaction with students and practice the essence of education, one-to-one teaching. They make students aware of their own potential, give them confidence, and face society together. Our teachers are passionate, and their sincere endeavors to nurture individuals with hands-on education are grounded in a belief that those efforts will without fail open the door to the future.

Keep looking to Tama University for even greater achievements.

此外，在“跨学部研讨班”中，为提供符合多摩大学以研讨班为中心的教育课程，多摩的本校与湘南GS及品川的研究生院展开合作，将学生和社会人集中在一起，以田野工作和文献研究为中心，通过团队研究来解决研讨课题。

“多摩学”作为团队的研讨主题之一，不仅在学术领域获得了一定的评价，还发展、实现了与多摩市及多摩信用金库的合作。作为扎根当地的大所展示出的一条崭新路线，获得了多方期待。

今年秋天，纪念办学25周年的新型设施“T Studio”将正式竣工。这里既是学生们度过校园生活的设施，也成为了面向当地社会开放的联网据点，并得到当地民众的善用。

多摩大学本着办学原则，基于“现代私塾”的教育理念，让每位教师都真诚地直面学生。本校彻底贯彻一对一这一教育特色，让学生意识到自己的潜力，鼓舞学生的信心，一起齐心协力共同面对社会。正是有了教师们的热情和勇于挑战个性化教育的耿直，我们坚信一定能开拓出美好的未来。也请各方人士能够对多摩大学今后的发展抱有期待。

インターゼミ論文テーマ一覧

年度	チーム	アジアダイナミズム	多摩学	サービス・エンタテインメント	環境・エネルギー	地域
2009		アジアとの交流プログラム	多摩ニュータウンの再生	ディズニーの研究	グリーン・ニューディール	東鳴子温泉活性化
2010		アジア歴史・文化 東アジアの未来像の構築に向けて アジア経済 「ヒト」「モノ」「カネ」「産業」	多摩学研究 八王子千人同心、絹織物 産業、多摩川の水防、民話、 市民農園	ディズニーキャラクタービジネス の成功要因に関する考察 観光 マンガ・アニメ・ツーリズム		
2011	アジアダイナミズム 孫文、伊藤博文、安重根	中里介山・白洲次郎による 成り上がり新中間層と 多摩地域の関係	ディズニーにおける人材育成 について			震災と日本再生
2012	日中韓の領土問題 ～尖閣諸島と竹島～	浦賀を中心とした 江戸幕府の対外貿易と海防	ディズニー海外展開戦略に 関する考察	地域特性を生かしたエネルギー 自立化モデルの可能性	東北を活性化するコミュニティ 形成	
2013	日本とユーラシアの交流 ～飛鳥寺を手指がかりに～	三多摩社はなぜ生まれたのか ～自由民権運動による多摩のDNA～	顧客・従業員満足度に関する 考察	多摩大学スマートユニアーシティ 構想	湯河原の地域活性化 ～介護7つ予防の提案～	
2014	江戸期の日中韓交流 朝鮮通信史の外交・文化的 意味と現代的意義	2040年多摩の展望 ～50年に一度の交通革新を超えて	東京オリンピックに向けてのIR 事業とおもてなし文化について	震災3年後から見る水産都市の地域再生 ～人口減少に伴うスマートシルクリングを目指して		



インターゼミ論文集

多摩学

グローバルの中でのローカルの立ち位置として、本学では「三多摩」地域に限定することなく、多摩川流域と相模川流域を挟んだ圏域を対象に地歴的特性を重視した研究を深め、教育・研究・地域貢献に活かすプログラムを一体的に開発し、その分野の先駆的役割を確立することを目標としています。

An institute holding a local position in a global stage, Tama University aims to further research that focuses not only the "San-Tama" area, but on geographic and historic characteristics related to Tama and the surrounding areas between the Tama River valley and Sagami River valley, integrally develop programs that leverage education, research, and community contributions, and establish leadership roles in those fields.

为了让学生基于全球视角，了解地域所处地位，在多摩和本大学，并不仅限于“三多摩”地区，而是加深以夹在多摩川流域和相模川流域之间的地区为对象的地理、历史特性的研究，成为教育、研究以及地区贡献的辅助力量。我们会努力开发这一学科，使其成为相关领域的领头羊。

多摩大学の理念

The Principles of Tama University / 多摩大学的理念

建学の精神

School motto / 办学精神

建学の精神・大学の基本理念 <http://www.tama.ac.jp/guide/idea.html>



【学校法人田村学園理事長】
田村 邦彦

田村学園は、昭和12(1937)年10月に田村国雄が建学の精神「質実清楚・明朗進取・感謝奉仕」を基礎として目黒区下目黒の地に社会に貢献できる女子実業人を養成することを目的として「目黒商業女学校」を設立し、幼稚園及び系列の短期大学と共に女子教育を行ってきました。その後の教育体制を整えるため、高等教育としては、平成元(1989)年に多摩大学(以下「本学」という)を設置し、中等教育は進学ニーズに合わせて男女共学の中高一貫教育への改組等を行い、現在では、多摩大学・大学院、多摩大学目黒中学校・高等学校、多摩大学附属聖ヶ丘中学校・高等学校、目黒幼稚園・大森双葉幼稚園・三宿さくら幼稚園まで、大学・大学院を頂点として幼稚園・中学校・高等学校・大学・大学院の一貫教育としての体制が整っています。本学園は、その目的を「豊かな個性を伸ばし、新しい時代に活躍できる人材を育成すること」と寄附行為第3条で規定し、国際感覚ある、心豊かな人材の育成を目指すことを明記しています。

Tamura Gakuen was established by Kunio Tamura in Shimomeguro, Meguro-ku in October 1937 as Meguro Commercial Women's School with the aim of educating female businesswomen capable of contributing to society. Founded on the school philosophy, "plain and tidy, cheerful and enterprising, thankful and volunteering" the school taught girls from elementary to senior high school, as well as at a kindergarten and an associated junior college. To provide further education, Tama University (hereafter, This University) was established in 1989 as an institution of higher education, and secondary education was reorganized into a unified lower-upper secondary school system for both boys and girls to meet the needs for continuing education. Today, there is an integrated education system that starts with kindergarten, continues with junior and senior high schools, and extends to a university and graduate school. The system spans Tama University/Graduate School, Tama University Meguro Junior & Senior High School, Tama University-affiliated Hijirigaoka Junior and Senior High Schools, and Meguro Kindergarten, Omorifutaba Kindergarten, and Mishukusakura Kindergarten. Tamura Gakuen has stated its aim in the 3rd Article of Endowment as, "to encourage an abundance of individuality and cultivate human resources who can be active in a new era," and has specified the goal of nurturing talented individuals who possess global awareness and fertile minds.

田村学園始建于1937年10月。创始人田村国雄本着“朴实纯真、明朗进取、心怀奉献”的办学精神，为培养能给社会做出贡献的女性职业人，于目黒区的下目黒建立了“目黒商业女校”，从事从幼儿园到同系列短期大学的女子教育。之后，为了调整教育结构，于1989年设立了从事高等教育的多摩大学(以下称为“本校”)。同时，还配合升学需求，将中等教育改为男女同校的初、高中系统教育。现在，包括多摩大学及研究生院、多摩大学目黒中学及高中、多摩大学附属圣之丘中学及高中、目黒幼儿园、大森双叶幼儿园、三宿樱花幼儿园在内，本校已经建立了以大学、研究生院为顶点，以幼儿园、初中、高中、大学及研究生院为一体的系统教育体系。本校将办学目的“发挥学生的多元化个性，培养能活跃在新时代的人才”设为校规第三条，明确表示会为培养拥有国际视野且思维丰富的人才而努力。

大学の使命・目的

Tama University's Mission & Aims / 大学的使命与宗旨

大学の使命・目的 <http://www.tama.ac.jp/guide/idea/mission.html>

本学の目的については、「学則」第1条に本学全体の目的を、「学則」第5条2項に経営情報学部の目的を、「学則」第5条3項にグローバルスタディーズ学部の目的を、「大学院学則」第1条に経営情報学研究科の目的をそれぞれ記述している。

「学則」第1条

多摩大学は、永年に及ぶ産業教育における経験を基盤とし、国際化・情報化時代に即応して、学生に高度な外国語能力と世界に通用する教養・最新の経営知識及び的確な情報処理能力を修得せしめ、国際的ビジネスの場で活躍できる人材の育成を目指すとともに、わが国の産業社会の健全なる発展に寄与する指導的人材を育成することを目的とする。

「学則」第5条(抜粋)

2 経営情報学部は、企業経営、情報科学に関する学術と応用を教育研究し、高度の経営情報知識と、これを支える豊かな教養とを合わせ備えた創造的、実践的な問題解決能力を有する人材を育成することを目的とする。

3 グローバルスタディーズ学部は、文明・歴史・経済・多文化交流などに関する学術と応用を教育研究し、語学力を活用したコミュニケーション能力とグローバルな問題を解決できる能力を持ち、国際基準の知識とこれを支える教養をもとにグローバルな舞台で活躍できる人材を育成することを目的とする。

「大学院学則」第1条

大学院は、広い視野に立って精深な学識を授け経営情報学の研究教授を通じて創造的問題解決能力を有する高度な専門的職業人の育成を目的とする。

大学の基本理念

The Founding Principles of Tama University / 大学的基本理念

建学の精神・学園の目的を踏まえ、平成元(1989)年大学開学時に本学の基本理念を「国際性」、「学際性」、「実際性」の3つのキーワードとしました。

そして、国際化・情報化社会の進展に即応して、世界の中で大きな役割を担い、日本の将来を背負うという自覺に基づいた強い実行力と広い視野を持ち自らを厳しく律することができる高い倫理観のある人材を育成することに尽力してきました。

さらに、開学20周年の平成21(2009)年を機に、本学の教育理念を、「現代の志塾」と定め、教育・研究・社会貢献の全分野の共通理念としました。



Based on the school philosophy and school aims, the fundamental principles of "internationality, interdisciplinarity, and practicality" were chosen for This University when it opened in 1989. In addition, in response to the development of globalization and an information-oriented society, This University has endeavored to nurture naturally disciplined human resources with strong moral values who possess a broad vision and great performance abilities based on a self awareness regarding playing a significant role in the world and carrying the future of Japan.

Furthermore, during the 20th anniversary in 2009, This University's educational ideal was designated as being "An Academic Institute of Ambition" that is shared with all fields contributing to education, research, and society.

根据本校的办学精神及目的，1989年开办大学时，本校的基本理念被总结为“国际性”、“学际性”、“实际性”三点。同时，本校也在竭力培养能迅速适应国际化及信息化社会的飞速发展，能在全球挑起巨大的担子，并明确自己肩负日本未来、且拥有强大行动力和广阔视野的高价值观自律型人才。并且，在办学20周年(2009年)到来之际，本校明确了“现代志塾”的教育理念，并将其定为在教育、研究及社会贡献等各个领域的共通理念。

大学の使命・目的

Tama University's Mission & Aims / 大学的使命与宗旨

大学の使命・目的 <http://www.tama.ac.jp/guide/idea/mission.html>

本学の目的については、「学則」第1条に本学全体の目的を、「学則」第5条2項に経営情報学部の目的を、「学則」第5条3項にグローバルスタディーズ学部の目的を、「大学院学則」第1条に経営情報学研究科の目的をそれぞれ記述している。

「学則」第1条

多摩大学は、永年に及ぶ産業教育における経験を基盤とし、国際化・情報化時代に即応して、学生に高度な外国語能力と世界に通用する教養・最新の経営知識及び的確な情報処理能力を修得せしめ、国際的ビジネスの場で活躍できる人材の育成を目指すとともに、わが国の産業社会の健全なる発展に寄与する指導的人材を育成することを目的とする。

「学則」第5条(抜粋)

2 経営情報学部は、企業経営、情報科学に関する学術と応用を教育研究し、高度の経営情報知識と、これを支える豊かな教養とを合わせ備えた創造的、実践的な問題解決能力を有する人材を育成することを目的とする。

3 グローバルスタディーズ学部は、文明・歴史・経済・多文化交流などに関する学術と応用を教育研究し、語学力を活用したコミュニケーション能力とグローバルな問題を解決できる能力を持ち、国際基準の知識とこれを支える教養をもとにグローバルな舞台で活躍できる人材を育成することを目的とする。

「大学院学則」第1条

大学院は、広い視野に立って精深な学識を授け経営情報学の研究教授を通じて創造的問題解決能力を有する高度な専門的職業人の育成を目的とする。

大学の個性・特色

The Character and Distinctive Features of Tama University / 大学的个性与特色

本学は、基本理念に従い開学以来「実学」を標榜し、時代の最先端を走る産業界で活躍した人材を教壇へ多数登用する等、「実学教育」を一貫して実践してきた。開学20周年の平成21(2009)年を機に、この「実学教育」をさらに深化させるため、新し

い時代の実学を「今を生きる時代についての認識を深め、課題解決能力を高める」と再定義し、本学の教育理念を「現代の志塾」と定め、教育・研究・社会貢献の全分野の共通理念とした。

多摩大学の“志”教育

Tama University's "Kokorozashi" (Ambition) Education

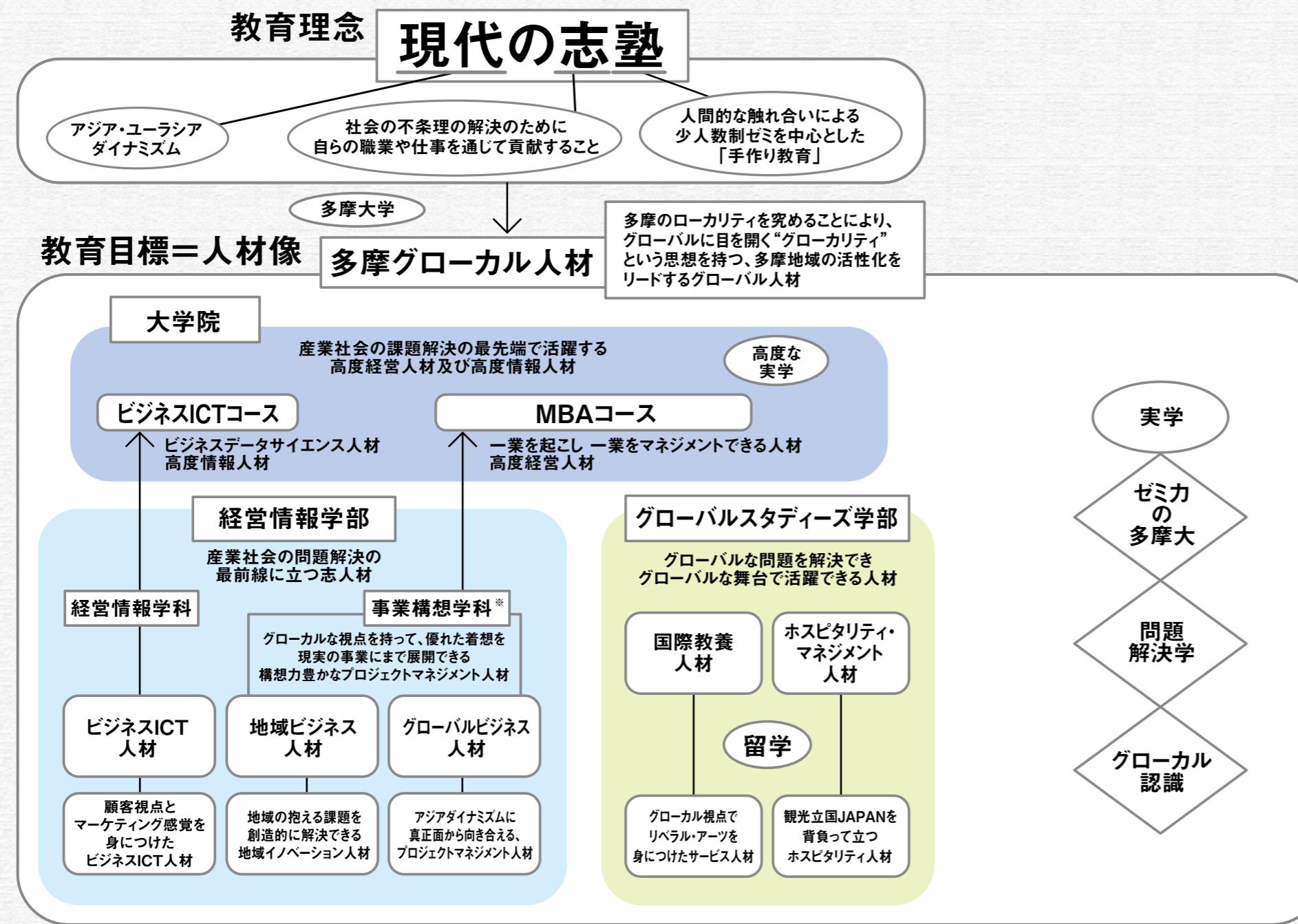
多摩大学的“志向”教育

多摩大学が輩出する人材像

The Character of Human Resources that Graduate from

Tama University / 多摩大学的人才培养模式

多摩大学の“志”教育 <http://www.tama.ac.jp/guide/change.html>



本学は「今を生きる時代についての認識を深め、課題解決能力を高める」ため、教育理念を「現代の志塾」と定め、教育・研究・社会貢献の全分野の共通理念としています。

「現代の志塾」とは「アシア・ユーラシアダイナミズム」の「現代」、社会の不条理の解決のために自らの職業や仕事を通じて貢献をする「志」、人間的な触れ合いによる少人数制ゼミを中心とした「手作り教育」の「塾」を意味しています。実社会に活かすことのできる力を備え、問題解決の最前線に立つ「志」人材の育成に尽力し、個性と特色にあふれた「ゼミ力の多摩大」を形成しています。

With the aim of increasing awareness of the present age to improve problem-solving skills, This University has established the educational ideal as being “An Academic Institute of Ambition” that is shared with all fields contributing to education, research, and society.

The phrase “An Academic Institute of Ambition” was created with the present-day dynamism of Asia and Eurasia in mind. While “ambition” refers to contributing through one’s occupation and work to the resolution of inconsistencies in society, “academic institute” refers to hands-on education through human contact centering on small-group seminars.

This University is composed of highly unique and distinctive “Tama University strength acquired from seminar-centered learning” that endeavors to cultivate ambitious human resources who stand at the forefront of problem solving armed with abilities that can be utilized in the real world.

本校本着“深入认识这个‘积极活在当下’的时代，提高解决课题的能力”的宗旨，定教育理念为“当代的志塾”，并作为教育、研究、社会贡献的各个领域的共同理念。

所谓“当代的志塾”指的是，“亚洲·欧亚活力充沛”的“当代”，希望通过自己的职业和工作对改变社会所存在的不合理现象做出贡献的“志”，以及重视人与人之间互相接触的少数制研讨班为中心的“手工式的教育”的“塾”。

我们致力于培养能够活跃于实际社会，拥有灵活运用能力的，站在解决问题的最前端的有“志”的人才，建设充满个性和特色的“研讨班实力雄厚的多摩大”。

ゼミ力の多摩大

Tama University: Strength from seminar centered learning

/ 研究型的多摩大学

ゼミ力の多摩大 <http://www.tama.ac.jp/faculty/seminar.html>

ゼミを重視し、1年次から4年次まで開設しています。最前線の事例に取り組むことで、問題を発見し解決する能力を養い、社会の問題解決の最前線に立つ人材を育てます。

Seminars offered from 1st to 4th year play a central role. The ability to detect and resolve issues is fostered by tackling cases at the forefront of business. Tama University cultivates human resources that stand at the front lines of resolving problems in society.

本校非常重视研讨会，从一年级到四年级都开办了相关研讨小组。通过讲述发生在最前线的事例，培养学生们发现问题、解决问题的能力，培养能屹立于解决工业社会问题最前线的人才。



[プレゼン] 対象：経営情報学部1年次

ゼミは講義を聞くだけではなく、議論、発表といった能動的な学習が重視されます。新入生にゼミの学習方法を理解してもらうための導入教育です。

Seminars are not simply for listening to lectures, but rather emphasize active learning such as discussion and presentation. The purpose of this introductory education is for new students to understand the seminar study method.

本小组并不只是听教师讲课，而更重视讨论、发表等能动式的学习能力。是能够让新生理解研讨小组学习方法的入门教育。



[ホームゼミ] 対象：経営情報学部2～4年次

関心あるテーマを選択し、3年間かけて研究を深める専門ゼミです。その分野の専門家である教員が、卒業後のキャリア支援を含めた指導とアドバイスを行います。

This is a special seminar where students select a theme of interest and spend three years developing research. Teachers who are experts in that area provide guidance and advice that includes career support following graduation.

以所关心的课题，用三年的时间进行深入研究的专业型研讨小组。由专业人士担任教师，为学生们提供包括毕业后就业援助等在内的各项指导及建议。



[プロジェクトゼミ] 対象：経営情報学部1～4年次

さまざまな学年、専門を持った学生が、半期または1年間かけてひとつのプロジェクトに取り組みます。実践的なゼミを通じて、総合的な問題解決能力を身につけます。

Students from various years of study and specializations take on a project for half a study term or one year. They learn general problem solving through classes that approximate practical learning.

由不同学年及专业的学生针对同一个课题，用半年至一年时间进行研讨。能让学生在类似实践的课程中，培养解决问题的综合能力。



[トライアルゼミ] 対象：グローバルスタディーズ学部3～4年次

2016年度よりゼミナールを開講する準備として、2013年度秋学期よりトライアルゼミナールを実施しています。

Pilot seminars have been held from the 2013 fall term to prepare for seminars set to start in the academic year 2016.

自2013年秋季学期起实施研讨班课程，作为从2016年度开始开讲的研讨班的准备。



[インターゼミ(社会工学研究会)] 対象：両学部1～4年次および大学院生

寺島学長が自ら塾長として主宰し、九段サテライトで開講している全学横断型のゼミです。両学部生と大学院生が参画し、テーマ毎のチームにより文献研究とフィールドワークで課題を解決しながらチーム論文に集約します。

A seminar covering all subjects, held at Kudan Satellite and presided over by Dean Terashima himself as principal. Both schools as well as graduate students will participate, and will be aggregating team essays as the teams, organized around each theme, solve issues through literary research and fieldwork.

由寺島校长亲自担任塾长主办，于九段Satellite开讲的贯穿全大学各年级的研讨班。由两个学部和大学院学生参与，根据研讨课题分组，通过研究文献和实习，一边解决课题，一边将成果集成为本组的论文。

経営情報学部

平成26(2014)年度 ホームゼミナール / 2014 Home Seminar

教員 / Instructor	ゼミ名 / Seminar Title	教員 / Instructor	ゼミ名 / Seminar Title
安藤 美冬	大学生のハローワーク 世の中の仕事や働き方を研究する	椎木 哲太郎	社会経済政策・近現代史(・時事問題全般)
飯田 健雄	コーチング・よりよきコミュニケーションを通して人間関係の構築およびビジネス英語でのコミュニケーション・スキルの獲得	志賀 敏宏	イノベーションで輝く人生・世界を拓く-製品・サービス・事業、企業等におけるマーケティングから組織全体までのイノベーション(創新)
石川 晴子	英語・コミュニケーション	下井 直毅	日本経済をさぐる
出原 至道	日常生活を拡張する情報技術-新しい情報技術を自力で身につける、独自の視点で課題解決に応用する	杉田 文章	スポーツやレジャーを通じた豊かな社会づくりを構想する
今泉 忠	可能性をリサーチする	趙 佑鎮	複眼の見方と歴史観の涵養 -マーケティング・流通・ベンチャー経営-
梅澤 佳子	人にも環境にも優しい、豊かなレジャーライフのデザイン	常見 耕平	「論語を読む」読みをとおして、革命思想家としての孔子の教えに学ぶ
大森 映子	歴史から現代社会を見直す	豊田 裕貴	マーケティング。特に消費者行動とブランドマネジメントをテーマに研究
大森 拓哉	心理情報学	中庭 光彦	地域政策マネジメント、コミュニティデザイン
奥山 雅之	地域産業活性化・地域ビジネスの起業	中村 その子	コマーシャル、キャッチコピー、イベント企画を中心とした企業PR全般
金子 邦博	「儲ける」ことを科学する会計を学ぶ	中村 有一	情報技術で未来を創造
金 美徳	企業・業界・市場情報とアジアビジネス	バ特尔(バートル)	中国・アジア経済をつかむ
小林 英夫	組織行動と企業家精神	浜田 正幸	組織マネジメント
清松 敏雄	企業会計	樋口 裕一	多摩地区に、そして日本に、クラシック音楽を広める
久保田 貴文	ビッグデータを利用したビジネスにおけるデータ分析と問題解決	久恒 啓一	国際思考塾
齋藤S. 裕美	情報社会における倫理	増田 浩通	エージェントベースモデルと社会シミュレーション
彩藤 ひろみ	都市・地域計画から舞台装置まで。デジタルクリエイションと現実社会との融合を図る	村山 貞幸	イベントの企画・運営を通じて、ビジネスのプロフェッショナルを目指す！社会人基礎力を徹底強化！
酒井 麻衣子	マーケティングデータ分析	諸橋 正幸	自然言語処理および人工知能

グローバルスタディーズ学部

平成26(2014)年度 トライアルゼミナール / 2014 Trial Seminar

教員 / Instructor	ゼミ名 / Seminar Title
市岡 浩子	これから国際観光:IR(統合型リゾート)とMICEに焦点をあて / International Tourism in the Near Future: Focus on IR and MICE
太田 哲	社会人類学と現代世界
Mark Zion	Judaism: The Origins Of Western Religions
Terence Joyce	言語と心の理解 / Understanding language and mind
竹内 一真	採用研究の最前線 / The Front Line of Research on Recruitment Psychology
堂下 恵	観光を通じた地域貢献・国際交流 / Local contribution and international interaction through tourism
橋詰 博樹	ディベートで学ぶ環境政策・気候変動の科学と政策 / Debating on Environmental Policy: Science and Policy on Climate Change
Erik Honobe	漢文英訳基礎 / Ancient Chinese Through Translation - Basic Level
安田 震一 (William Shang)	中国事情
良基 徳和	IT技能資格取得ゼミ / Seminar for IT Qualification Acquisition
渡邉 泰典	ゲーム理論入門 / Introduction to Game theory

大学を世界へ繋ぐ

Connecting Tama University with the world /

グローバル社会との連携①

Collaborating with “Glocal” Society (1)
与全球本土化社会的联动(1)

连接大学与世界

■ 海外研修プログラム／留学・海外インターンシップ

Overseas training programs / Study abroad programs and overseas internships
海外研修课程 / 留学、海外实习

世界から日本を見直すことで、国際社会で果たすべき日本の役割が見えてきます。

提携する大学や海外企業のインターンシッププログラムにより、
リアルなグローバル社会を体験します。

Re-examining Japan from abroad enables individuals to see the role Japan should play in
global society. By experiencing the internship programs available at overseas companies and
affiliate universities, students can experience true global society.

通过世界重新审视日本，能够看清日本在国际社会中应尽的职责。

通过相关大学联动及海外企业的实习课程，让学生亲身体验真实的国际社会。

国際交流センター International Exchange Center / 国际交流中心

<http://www.tama.ac.jp/international/cir.html>

基本理念のひとつである「国際性」をさらに充実させ、グローバルに
通用する大学を目指して、平成21(2009)年に設置しました。主な
業務は、本学で学ぶ留学生の受け入れの促進、本学学生の海外

留学促進、教職員の海外提携大学または機関との交流の3つです。
多くの多摩大学生が、長期、短期の留学・インターンシップを通して
世界を知り、グローバル社会で生きる力を身につけています。



平成25(2013)年10月 グローバルスタディーズ学部にて
ナンヤンボリテクニック(シンガポール)スタディーツアー受け入れ

To further enrich internationality, which is one of the basic founding principles of the school, this center was established in 2009 with the goal of making Tama University a world-class university. Its 3 main tasks are bolstering the intake of exchange students to our university, promoting study abroad programs for the university's students, and increasing mobility between teaching staff at our university and overseas affiliates. Many Tama University students come to understand the world through short-term and long-term study abroad and internships, and acquire the ability to live in a global society.

为进一步充实本校的基本理念之一——国际性，成为在全球通用的大学，本校于2009年设置了国际交流中心。中心的主要业务有三项，即谋求增加前来本校学习的留学生数量，让本校学生前往海外留学，以及加强教职员与海外联动大学及机构的交流。多摩大学的大部分学生都能通过长期或短期的留学实习，进一步认识世界，拥有在国际社会中生存的能力。

経営情報学部 <http://www.tama.ac.jp/international/smis/>

School of Management and Information Sciences / 经营信息学部

留学プログラム Study Abroad Programs / 留学计划

1週間以上3ヶ月未満の短期留学と3ヶ月以上の長期留学があります。1ヶ月の留学には4単位、6ヶ月の留学には16単位、1年の留学には40単位を認定します。

Programs include short-term study abroad programs that last from over a week to up to 3 months, and long-term programs of over 3 months. The 1-month programs offer 4 credits, the 6-month programs 16 credits, and the 1-year programs 40 credits.

有1周以上3个月以下 的短期留学和3
个月以上的长期留学。1个月的留学可
获认可4个学分,6个月的留学可获认可
16个学分,1年的留学可获认可40个
学分。

【短期プログラム】※2014年度実施予定

アカデミック

- ★ アジアサイエンスパーク協会(韓国) / 1週間
- ★ 漢陽大学(韓国) / 3週間
- ★ 東明大学(韓国) / 3週間
- ★ 淑明女子大学(韓国) / 3週間
- ★ 開南大学(台湾) / 3週間
- ・サンパラフィックカレッジ(オーストラリア) / 4週間
- ・ボンド大学(オーストラリア) / 4週間

【長期プログラム】

交換留学

- ★ 天津財経大学(中国)
- ★ 新疆財経大学(中国)
- ★ ユーシーオーラバール(UCO(UNIVRESITE CATHOLIQUE DE L'OUEST) Laval)(フランス)
- ★ エジニアSIEA(Ecole Supérieure d'Informatique, Electronique et Automatique)(フランス)

*は海外協定校

グローバルスタディーズ学部 <http://www.tama.ac.jp/international/sgs/>

School of Global Studies(SGS) / 全球调研学部

留学・海外インターンシップ Study abroad and overseas internships / 留学、海外实习

留学プログラム Study abroad programs / 留学课程

10日間から1ヶ月程度の短期留学と1学期から1年間の長期留学があります。
短期留学については2単位が認定され、長期留学については留学先で単位を取得した科
目のうち、科目概要をもとに、SGSの科目に読み替え可能とみなされた科目について単位互
換を行います。

Programs include short-term study abroad programs of 10 days to 1 month, and long-term programs of 1 term to 1 year. The short-term programs offer 2 credits. Credits for subjects taken abroad during long-term programs can be transferred if, based on the course syllabus, they are deemed interchangeable with SGS subjects.

有10天到1个月左右的短期留学和1
学期到1年的长期留学。
短期留学可获认可2个学分,长期留学
可依照课程概要规定,在对方学校取得
学分的课程如果有可以和SGS的课
程进行交叉更换的课程,其学分可以进
行互换。

【短期プログラム】※2014年度実施予定

アカデミック

- ・モナシ大学(オーストラリア) / 5週間
- ★ ロイヤルメルボルン工科大学(オーストラリア) / 5週間
- ・クライストチャーチ工科大学(ニュージーランド) / 4週間
- ・UCLA(アメリカ) / 3~4週間
- ・ハワイ大学マノア校(アメリカ) / 3週間
- ・バンクーバーアイランド大学(カナダ) / 4週間
- ・ピクタリア大学(カナダ) / 4週間
- ・シェフィールド大学(イギリス) / 4週間
- ・台湾におけるボランティア活動プログラム / 10日間
- ★ ナンヤンボリテクニック(シンガポール)における
ホスピタリティを学ぶプログラム / 2週間

【長期プログラム】

交換留学

- ★ ブレーメン州立経済工科大学(ドイツ)
- ★ ロイヤルメルボルン工科大学(オーストラリア)
- ★ バルドス州立大学(アメリカ)
- ★ レイクランド大学(アメリカ)
- ★ アルゴマ大学(カナダ)
- ★ ウィニペグ大学(カナダ)
- ★ ナンヤンボリテクニック(シンガポール)
- ★ マカオ大学(マカオ)
- ★ 国立暨南国际大学(台湾)
- ★ テイラーズ大学(マレーシア)
- ★ ビヌス大学(インドネシア)

*は海外協定校

一般留学

多摩大学が提携している大学・教育機関以外に、
長期留学を希望する場合、大学もしくは大学付属の
語学学校であれば、正規プログラムとして認められ、
単位認定や奨学金給付の対象になります。

● 海外インターンシップ Overseas internships / 海外实习

3年次を対象に、事前講義の後、最低2週間、海外の企業やNPO等で就業体験をする海外インターンシッププログラムを提供しています。

Overseas internship programs are offered to 3rd-year students who have taken a lecture in advance. The internships take place at establishments such as overseas companies and NPOs for a minimum of 2 weeks to allow students to experience a work environment.

以3年级学生为对象,预先进行讲座之后,提供最少为期两周的在国外企业和非营利团体体
验工作的海外实习计划。

※上記の各プログラムはすべて両学部の学生が参加できる体制となっています。

Students from both schools can participate in all the programs shown above. / 这是上述所有各项计划两个学部的学生都可以参加的体制。

大学を地域へ繋ぐ

Connecting Tama University with the community /

グローカル社会との連携②

Collaborating with “Glocal” Society (2)
与全球本土化社会的联动(2)

连接大学与世界

■ 地域連携／产学連携

Community collaboration / Industry-academia collaboration
区域合作 / 产学合作

学生が社会で実践できる問題解決能力を養える場として、

地域活性化マネジメントセンターを核に、地域や企業と連携した
プロジェクトに取り組んでいます。

As a place where students can learn problem-solving skills that can be practiced in society, the Center for Regional Development Management Center helps students tackle projects involving collaboration with communities and companies.

为培养学生在社会中解决实际问题的能力，以地区发展管理中心为基础，提供和当地及企业进行联动的课程。

地域活性化マネジメントセンター Center for Regional Development / 地区发展管理中心

<http://www.tama.ac.jp/cooperation/managementcenter.html>

地域の問題・課題を診断し、その解決を図り、地域の持続的発展に寄与する人材育成と、地域連携・地域貢献を目的とした、教員・学生の共同利用施設です。主に(1)地域活性化マネジメント履修モデ

ルの登録学生・教員への支援サービス (2)多摩地域の課題解決の手法開発(「多摩学」の構築) (3)企業や自治体・市民団体等との共同利用施設です。主に(1)地域活性化マネジメント履修モデ



This joint-use facility for teaching staff and students aims for community collaboration and contribution, and fosters human resources that can recognize community problems and issues, conceive solutions, and contribute to sustainable community development. It primarily concerns with (1) support services for registered students and teachers of regional development management models, (2) developing methods for solving issues in the Tama region (creating "Tama Studies"), and (3) being a contact point for conducting various community collaboration with companies, municipalities, civic groups, etc.

地区发展管理中心是探寻当地的问题、课题并寻求解决之策，培养能促进地区持续发展的人才，以地区联动、地区贡献为目的，教职员和学生都可利用的设施。主要有三项业务(1)为登录了地区发展管理中心推荐修得科目的学生及教职员提供支援服务。(2)开发多摩地区的课题解决手法(构筑《多摩学》)。(3)开放企业、自治体、市民团体等各类地区联动窗口。

地域連携

Community collaboration / 区域合作

多摩大学学生ボランティア団体が、公益財団法人 東京市町村自治調査会「平成25年度学生による地域貢献活動団体助成金」ボランティア活動報告会にて最優秀地域貢献賞を受賞

Tama University student volunteer group received the top award for community contribution at the volunteer activities meeting from the "The Institute for Tokyo Municipal Research 2013 Community Contribution Activities Group Grant."

在《公益财团法人 東京市町村自治调查会2013年度地区贡献活动学生团体补助金》的公益活动报告会中，多摩大学的学生志愿者团体荣获了最佳地区贡献奖。多摩市にある福祉法人「時の会」が運営する「多摩うどん、ぱんぱこ」のPR活動を行いました。ゼミで学んだ知識をボランティア活動で実際に活かし、最優秀地域貢献賞を受賞する成果につながりました。

PR activities were carried out for "Tama Udon, Ponpoko," run by the welfare corporation, Toki no Kai in Tama City. The knowledge learned in seminars was applied to volunteer activities, which led to being awarded top honors for community contribution.

参与了多摩市福祉法人“时之会”组织的“多摩鸟冬Ponpoko”宣传活动，正是因为将在研讨小组学习到的知识实际运用到志愿者活动，才有了获得最佳地区贡献奖的成果。



产学連携

Industry-academia collaboration / 产学合作

多摩大学・多摩市・多摩信用金庫の三者が産官学連携

Industry, government, and academia collaboration with Tama University/Tama City/Tama Shinkin Bank /
与多摩大学、多摩市、多摩信用金库进行三方合作

多摩市・多摩信用金庫と本学による産官学連携で、職住接近の働き方に見合った郊外型の産業の育成に取り組んでいます。

Industry-government-academia collaboration among Tama City, Tama Shinkin Bank, and Tama University is tackling the promotion of suburban-type industry tailored to proximity between work and residence.

通过由多摩市、多摩信用金库与本校组成的产官学相结合，提供适合职住接近的郊外型产业。



寺島実郎学長自ら実践する最先端教育「寺島実郎監修リレー講座『現代世界解析講座』」

Relay Lectures: Innovative education put into practice by President Jitsuro Terashima /
寺島实郎校长亲身实践的最先进的教育方式“寺島实郎监修接力讲座《现代世界解析讲座》”

世界各国の現況、海外から見た日本、国内の諸問題を、グローバル、ローカル、あるいは産官学と多角的な視点から取り上げることで、現代社会が抱えている問題意識を提起します。寺島実郎のネットワークを活かして講師を招き、学生ばかりでなく地域住民も受講することができます。

Examining current conditions in various global regions, Japan from a global perspective, and various domestic issues from diverse standpoints including global, local, and industry-government-academia raises awareness of issues faced by society today. Jitsuro Terashima's network is utilized to invite teachers to seminars that are open not only to students, but also community residents.

通过学习掌握世界各地现况、从海外看日本所能发现的国内诸多问题、全球、本地化及产官学等多视角问题，培养学生对现代社会问题的认识。寺島实郎运用网络广招讲师，让学生和当地居民都参与课程。

[2014年春学期 実績]

第1回	寺島 実郎	多摩大学 学長、(一財)日本総合研究所 理事長、株式会社三井物産戦略研究所 会長	「2014年という年の持つ意味」
第2回	金 美徳	多摩大学経営情報学部および大学院経営情報学研究科 教授	「激動する朝鮮半島と日本」
第3回	中島 隆博	東京大学東洋文化研究所 教授	「グローバルヒストリーへの視界—新しい普遍性を問う」
第4回	酒井 啓子	千葉大学法政経学部 教授	「今、中東で何が起きているのか」
第5回	藤原 帰一	東京大学大学院法学政治学研究科 教授	「中国はどう向き合うか—権力移行と国際政治」
第6回	寺島 実郎	多摩大学 学長、(一財)日本総合研究所 理事長、株式会社三井物産戦略研究所 会長	「17世紀オランダからの視界—その後の進捗」
第7回	片岡 利文	NHK経済・社会情報番組部 チーフ・ディレクター兼専門委員	「映像ジャーナリストに必要な力とは～職業人としての成否を決する〇〇力～」
第8回	椎木 哲太郎	多摩大学経営情報学部 教授	「国政選挙から見た多摩の近現代史」
第9回	大谷 徹美	奈良薬師寺 執事	「幸せの条件～よりよい人間関係の為に～」
第10回	今井 浩三	東京大学医学研究所 附属病院長	「最先端医療の開発とDNA情報に基づく新たな社会」
第11回	後藤 謙次	ジャーナリスト	「消費増税と安倍政権の行方」
第12回	寺島 実郎	多摩大学 学長、(一財)日本総合研究所 理事長、株式会社三井物産戦略研究所 会長	「2014年夏の見方—日本の進路」

社会の問題に向き合い、解決を図る

Confronting social issues and devising solutions /

直面社会問題, 寻求解决之策

共同研究

(2014年度プロジェクト、経営情報学部) http://www.tama.ac.jp/research/smis_collaborative_research.html

1 多摩グローカル人材像を創造する	代表：金 美徳 教授
2 多摩大学のアクティブラーニングプログラム開発	代表：中庭 光彦 准教授
3 多摩大アジアダイナミズム研修視察	代表：趙 佑鎮 教授
4 イタリア・スポーツ留学プログラムの開拓	代表：杉田 文章 教授
5 プロジェクトマネジメントシステムを活用したプロジェクト型学習活動支援の有効性の検証	代表：出原 至道 教授
6 フットサルにおけるプレイヤーデータの収集システム	代表：出原 至道 教授
7 第4回多摩地域における採用実態調査	代表：酒井 麻衣子 准教授
8 入試等で使えるARパンフレット実装研究	代表：彩藤 ひろみ 教授
9 「多摩」における歴史特性の研究	代表：大森 映子 教授
10 「内向き志向」の若者を「外向き志向」に育てるプロジェクト研究	代表：金子 邦博 教授
11 多摩大生の「多様性」強化のための「初めての海外旅行」推進のための調査研究	代表：中村 その子 教授
12 ビジネスデータサイエンス創造	代表：今泉 忠 教授
13 不適応学生の集合研修と学生相談室のアウトリーチプログラム	代表：大森 拓哉 教授

専門研究

(2014年度、グローバルスタディーズ学部) <http://www.tama.ac.jp/guide/teacher/index-sgs.html>

アイグル クルナザロバ 教授	国際法・国際関係
石塚 智子 准教授	英語学・英語教育
市岡 浩子 教授	観光学
ウィリアム シャング 教授	東西文化交流史・表象文化
エリック ホノベ 准教授	金融
太田 哲 専任講師	社会人類学
小塙 晓絵 専任講師	英語学・英語教授法
小松 加代子 教授	宗教・ジェンダー
杉下 かおり 専任講師	文化人類学
高橋 順子 教授	英語教育・英語学
竹内 一真 専任講師	教育情報学・教育学
張 琪 准教授	情報システム

多摩学電子新書

<http://www.tama.ac.jp/cooperation/tamagaku-shinsho.html>

多摩の歴史を探り、多摩の現代について考え、多摩という視点から未来を構想する多摩学。
多摩学電子新書には、教員・職員を中心とした多摩学の成果が記されています。

	多摩学電子新書 Vol.1 古代・中世史から見た 多摩地域の「独立」気風 2011年発行 多摩大学経営情報学部 教授 諸橋 正幸
	学電子新書 Vol.9 中里介山・白洲次郎にみる 新中間層の成り上がりと 多摩地域の関係 2012年1月発行 2011年度インターミ 多摩学グループ
	多摩学電子新書 Vol.15 富士河口湖町における観光まちづくり案 ～空き家を活用した宿泊施設～ 2014年1月発行 中庭光彦ゼミ(地域政策) 観光まちづくりグループ
	多摩学電子新書 Vol.16 多摩企業のインタビュー調査 報告書2013～多摩地域WEB MUSEUM PROJECT 2013～ 2014年2月発行 中庭光彦ゼミ(地域政策) 企業インタビューグループ
	多摩学電子新書 Vol.17 三多摩壮士はなぜ生まれたのか ～自由民権運動にみる多摩の DNA～ 2014年1月発行 2013年度インターミ 多摩

研究紀要

(経営情報学部) <http://repository.tama.ac.jp/>

今泉 忠 教授	ICT業界就職内定率向上プロジェクト
豊田 裕貴 教授	WEB配信システムを活用した講義配信ならびに遠隔地との演習実施環境構築への試み
大森 映子 教授	「多摩」における地域特性の研究：歴史的背景からの検証
梅澤 佳子 教授	コミュニティ形成、学生のシティズンシップ教育につながる生涯学習のデザインに関する一考察：大学と地域・行政・企業・民間団体の連携のあり方を考える
中庭 光彦 准教授	移動流通：買い物難民に対応した流通モビリティ化を支援する社会システムの研究
金 美徳 教授	韓国企業と日本企業の比較研究
増田 浩通 准教授	研究戦略策定における意思決定手法の適用に関する調査研究
朴 浩烈 非常勤講師	言語学からマイノリティ言語への視座
諸橋 正幸 教授	江戸期における浦賀の役割の変遷
大森 映子 教授	江戸時代における大名相続と御目見
下井 直毅 教授	就職率向上対策プロジェクト：多摩地域における企業動向の研究
齋藤 S. 裕美 准教授	情報倫理教育におけるディベートを用いたカリキュラム開発
奥山 雅之 准教授	戦略的・統合的視点による製造業のサービス事業展開に関する一考察
豊田 裕貴 教授	多摩大SMIS発・問題解決学コンテンツの整備ならびに構築のための研究:問題解決学の構築プロジェクト
巴特爾 准教授	多摩大アジアダイナミズム香港研修視察
増田 浩通 准教授	多摩地域における災害時の流通システム回復性の研究：東日本大震災における道の駅の役割をヒントに
梅澤 佳子 教授	留学生の視点から考える多摩地域の活性化：サンリオピューロランドを中心に



経営情報学部の志 <http://www.tama.ac.jp/faculty/smis/>

産業社会の問題解決の最前線に立つ志人材を育てる

グローバル化、少子高齢化など、日本はこれまで経験したことのない時代を迎え、企業が抱える課題は、経験則や成功体験が活かせなくなっているため、問題を発見し解決できる人材が求められています。

本学部は「産業社会の問題解決の最前線に立つ志人材を育てる」を理念に掲げ、教育カリキュラムを構成。2014年度から新カリキュラム体制（産業社会論・問題解決学・最前線事例）に移行し、具体的な教育成果につなげています。

教授陣の多くは企業出身者で、マーケティング、ビジネス戦略、財務会計、ICT、グローバルビジネス、Webデザイン、リサーチなど、さまざまな手段を駆使する最先端で実際的な「問題解決学」を教えることができます。

カリキュラムはゼミを中心に構成され、少人数、グループワーク、フィールドワークを多く取り入れた双向型・参加型の授業を行っています。

学部長メッセージ



経営情報学部 学部長
久恒 啓一

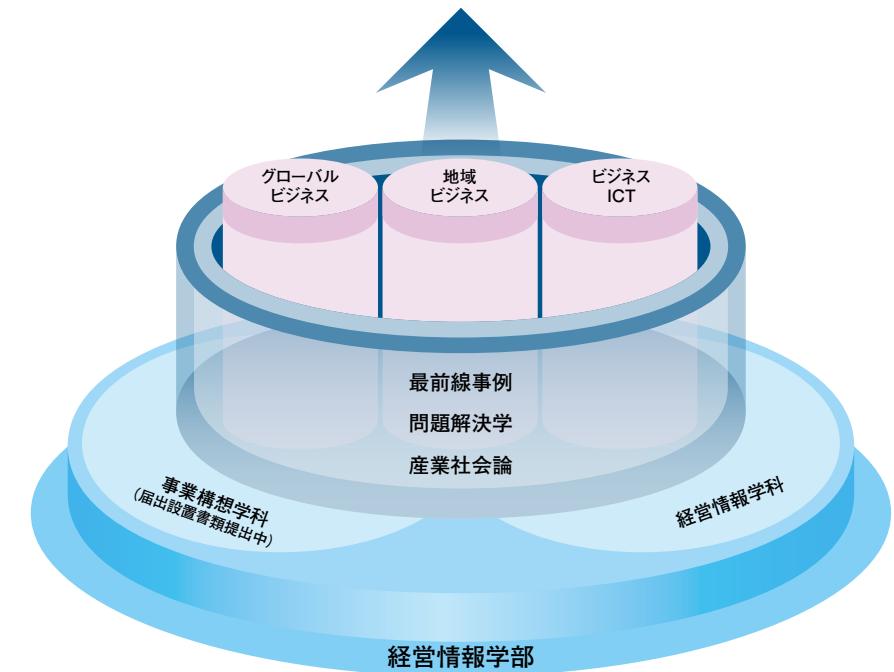
九州大学法学部卒業後、日本航空株式会社入社。
広報課長、サービス委員会事務局次長などを歴任後、
1997年に新設された宮城大学教授（事業構想学部）
に就任。以降、活発な著作活動を展開する。著書は
100冊を超える。2008年より本学教授、2012年より
経営情報学部長に就任。

ゼミ力の多摩大

「志塾」という絆を育む少人数教育によって、
最先端の「問題解決学」を身につけます。

多摩大学の最大の特色は、時代の最先端を走る産業界で活躍した人材の教壇への登用など、一貫して実践してきた「実学教育」にあります。平成21（2009）年に、この実学教育をさらに深化させるために新しい時代の実学を「今を生きる時代についての認識を深め、課題解決能力を高めること」と再定義し、大学の教育理念を改めて「現代の志塾」と定めました。この「現代の志塾」という教育理念に沿って、経営情報学部は産業社会の問題解決の最前線に立つ志人材を育てることを志とし、少人数教育のゼミを中心に、教職員一体となって「手作り感あふれる教育」を実践しています。

産業社会の問題解決の最前線に立つ志人材へ



経営情報学部のカリキュラム体系

● 産業社会論

産業社会の問題の分析・解決策の策定・実践に役立つ考え方や知識を広く学ぶことができるカリキュラムです。

● 問題解決学

知識を断片的に教えるのではなく、どのような知識や手法が、どのような問題解決に必要なのかを身につけます。すべての科目を問題解決学の一つの方法論として展開します。

● 最前線事例

少人数による双方のゼミナル形式の学び。産業社会や地域社会が抱えるさまざまな問題を取り上げ、解決策を提案・実施する実践力を養う実学教育プログラム。プレゼン、ホームゼミ、プロジェクトゼミ、インターベンションの4つのゼミとして展開しています。

自身の興味や目標に合わせて選択できる2つの学科・3つの履修モデルを設置

事業構想学科 (届出設置書類提出中)

「グローバルな視点を持って、すぐれた着想を事業にまで展開できる、構想力豊かなプロジェクトマネジメント人材」を育成する。



グローバルビジネス
(プロジェクトマネジメント人材)



地域ビジネス
(地域イノベーション人材)



ビジネスICT
(ビジネスICT人材)

経営情報学科

「顧客視点とマーケティング感覚を身につけた、ビジネスICT人材」を育成する。

TOPIC

平成27年度 事業構想学科への名称変更について (届出設置書類提出中)

本学では「多摩グローバル人材」＝「多摩のローカリティを究めることにより、グローバルに目を開く“グローバル性”という思想を持つ、多摩地域の活性化をリードするグローバル人材」を教育目標にしています。これに基づき「産業社会の問題解決の最前線に立つ志人材」の育成を目的に平成22（2010）年以降カリキュラムの整備を行ってきました。これをさらに具現化するために、学科の名称をマネジメントデザイン学科から事業構想学科に変更し、グローバル人材（アジアダイナミズムに真正面から向き合える、プロジェクトマネジメント人材）と、地域ビジネス人材（地域の抱える課題を創造的に解決できる、地域イノベーション人材）の育成に特化していきます。



経営情報学部 カリキュラム <http://www.tama.ac.jp/faculty/smis/curriculum/>

ゼミ中心の教育カリキュラム

少人数による双方向のゼミナール形式が経営情報学部の基本的な学びのスタイルです。この手作り型の教育により、産業社会や地域社会が抱えるさまざまな問題を取り上げて分析し、解決策を提案・実施する活動を通じて、問題解決の実践力を養います。

実践的知識獲得のための講義カリキュラム

問題の分析・解決策の策定・実践に役立つ考え方や知識を広く学ぶことができるよう、学際性、国際性を考慮した科目群を用意しています。講義の内容も知識を断片的に教えるのではなく、どのような問題解決には、どの知識や手法が有効なのか、体系的に身につけることのできるカリキュラム編成を行っています。



1年次

2年次～

3年次～

4年次

最先端の教育
最前線の経験



経営情報学部 教員紹介

<http://www.tama.ac.jp/guide/teacher/index-smis.html>

さまざまな業界のビジネスの第一線を知るエキスパートが集結。
手作り教育を大切に、学生と向き合います。



寺島 実郎 学長・教授
Terashima Jitsuro



諸橋 正幸 副学長・教授
Morohashi Masayuki



久恒 啓一 経営情報学部長・教授
Hisatsune Keiichi

【担当科目】
インターミナーネルI~VI
特別講座I~II

【担当科目】
経営情報論I・II、情報通信と社会、ICTビジネス入門、地域ビジネス論、特別講座I・II、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI、インターネットI~VI
職歴：日本アイ・ビー・エム株式会社

【担当科目】
マネジメントデザイン論I、立志論I・V、ビジネスコミュニケーション入門II、特別講座I・II、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI、インターネットI~VI
職歴：日本航空株式会社



巴特尔 准教授
Baatar

【担当科目】
中国ビジネスコミュニケーションI・II、中国語I・II、中国経済論、グローバルビジネス入門、アジア経済論II、特別講座I・II、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI
職歴：株式会社三井物産戦略研究所



樋口 裕一 教授
Higuchi Yuichi

【担当科目】
文章伝達入門、日本語表現法I・II、ビジネスコミュニケーション入門II、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI



浜田 正幸 教授
Hamada Masayuki

【担当科目】
キャリアデザイン入門、消費心理、キャリアデザインI・III、インターネットI・II、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI
職歴：本田技研工業株式会社、株式会社野村総合研究所、株式会社ケアブレインズ



村山 貞幸 教授
Murayama Sadayuki

【担当科目】
マーケティング入門、実践的事業経営特講、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI
職歴：株式会社電通

グローバルビジネス

飯田 健雄 教授
Iida Takeo

【担当科目】
国際経営入門I・II、Englishビジネスコミュニケーション、多国籍企業I・II、グローバルビジネス入門、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI

石川 晴子 准教授
Ishikawa Haruko

【担当科目】
English Expression I・II、TOEICI・II、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI

金子 邦博 教授
Kaneko Kunihiro

【担当科目】
管理会計入門、ビジネス入門II、立志論I・II・V、ホームセミナーI~VI、ホームセミナーI~VI(立志セミナー)
職歴：株式会社日本公会計総合研究所

金 美徳 教授
Kim Midok

【担当科目】
グローバルビジネス入門、アジア経済論I、特別講座I・II、韓国経済論、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI
職歴：株式会社三井物産戦略研究所

清松 敏雄 准教授
Kiyomatsu Toshio

【担当科目】
初級簿記、中級簿記、財務会計I・II、財務管理、立志論V、ホームセミナーI~VI、ホームセミナーI~VI(立志セミナー)
職歴：青山監査法人、株式会社ビジネストラスト、清松公認会計士事務所

小林 英夫 准教授
Kobayashi Hideo

【担当科目】
特別講座I・II、経営組織I・II、マネジメントデザイン論II、ビジネス入門I、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~IV、インターネットI~IV
職歴：日本アイ・ビー・エム株式会社、イー・アクセス株式会社、イー・モバイル株式会社

椎木 哲太郎 教授
Shiigi Tetsutaro

【担当科目】
経済学入門、マクロ経済学、日本経済論、近現代史:世界と日本、社会経済政策、グローバルビジネス入門、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI

志賀 敏宏 教授
Shiga Toshihiro

【担当科目】
ビジネス戦略入門、特別講座I・II、ビジネス戦略I・II、問題解決実践I・II、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~IV
職歴：株式会社日立製作所、株式会社三菱総合研究所

下井 直毅 教授
Shimoi Naoki

【担当科目】
経済学入門、問題解決学総論、グローバルビジネス入門、マイクロ経済学、国際経済、金融論、経済統計学、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI

杉田 文章 教授
Sugita Fumiaki

【担当科目】
余暇マネジメントI・II、スポーツII、立志論I、ホームセミナーI~VI、ホームセミナーI~VI(立志セミナー)

趙 佑鎮 教授
Cho Woo-Jin

【担当科目】
韓国語I・II、立志論III、マーケティングマネジメント論、グローバルビジネス入門、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI
職歴：社団法人韓国人間開発研究院、かながわサイエンスパーク

常見 耕平 教授
Tsunemi Kohei

【担当科目】
経営基礎II、余暇マネジメントI・II、日本経済史I・II、日本経営史I・II、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI

中村 その子 教授
Nakamura Sonoko

【担当科目】
English ExpressionI・II、TOEICI・II、Study Abroad I~VII、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI

地域ビジネス

梅澤 佳子 教授
Umezawa Yoshiko

【担当科目】
ライフデザイン入門、スポーツI・II、ライフデザイン、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI(立志セミナー)

奥山 雅之 准教授
Okuyama Masayuki

【担当科目】
地域ビジネス論、特別講座I・II、多摩学入門II、中小企業論、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~IV、インターネットI~VI
職歴：東京都庁



大森 映子 教授
Omori Eiko

【担当科目】
歴史と文化、多摩学入門I、地域ビジネス論、日本政治史、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI

中庭 光彦 准教授
Nakanishi Mitsuhiro

【担当科目】
流通論、観光学概論、地域活性化戦略論、地域政策マネジメント論、地域ビジネス論、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI、インターネットI~VI、特別講座I・II
職歴：日本コンベンションサービス株式会社、プロジェクト・ブレーン株式会社、ミツカン水の文化センター

ビジネスICT

安藤 美冬 専任講師
Ando Mifuyu

【担当科目】
ソーシャルメディア論、SNS社会論、女性のためのキャリアデザイン、海外活動英語コミュニケーションI・II、特別講座I・II、ホームセミナーI・II、プレゼンテーションII
職歴：株式会社集英社、株式会社スプリー

今泉 忠 教授
Imaizumi Tadashi

【担当科目】
統計、ICTビジネス入門、統計学I・II、経営情報数学II、経営と意思決定、ビジネスコミュニケーション入門II、問題解決学総論、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI



出原 至道 教授
Iedhara Norimichi

【担当科目】
ビジネスコミュニケーション入門I、問題解決学総論、コンピュータ概論、経営基礎II、ICTビジネス入門、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI、インターネットI~VI

久保田 貴文 准教授
Kubota Takafumi

【担当科目】
データ解析、経営情報数学I、特別講座I・II、プレゼンテーションI・II、インターネットI~VI
職歴：大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所リスク解析戦略研究センター



大森 拓哉 教授
Omori Takuya

【担当科目】
教育実習、教育心理学、教育相談、認知心理、ビジネス数学基礎、AP数学、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI

齊藤 S. 裕美 准教授
Saito S. Hiromi

【担当科目】
WebデザインI、情報と職業、教育方法、情報科教育法、教育史、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI



酒井 麻衣子 准教授
Sakai Maiko

【担当科目】
マーケティング・データ分析I・II、社会調査士実習I・II、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI
職歴：株式会社三洋キャリア開発人材アセスメント研究所、エス・ピー・エスエス株式会社、株式会社ソフマップ等

彩藤 ひろみ 教授
Saito Hiromi

【担当科目】
Webサービス開発、ICTビジネス入門、マルチメディア実践、WebデザインII、問題解決学総論、ビジネスコミュニケーション入門II、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI



中村 有一 教授
Nakamura Yuichi

【担当科目】
プログラミング言語I、情報概論、コンピュータネットワーク活用、システムデザイン、コンピュータサイエンス、ICTビジネス入門、ビジネスコミュニケーション入門I、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI

豊田 裕貴 教授
Toyoda Yuki

【担当科目】
リサーチ入門、マーケティングモデリング、マーケティング・リサーチ、ビジネスコミュニケーション入門II、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~VI
職歴：株式会社ビデオリサーチ、株式会社東京ガス都市生活研究所



増田 浩通 准教授
Masuda Hiroyuki

【担当科目】
情報ネットワーク概論I、情報工学概論、経営科学I・II、特別講座I・II、プレゼンテーションI・II、ホームセミナーI~IV

経営情報学部 キャリアサポート <http://www.tama.ac.jp/career/smst/>

実学重視の多摩大学では、学生一人ひとりの強みや適性をしっかりと把握し、少人数制を活かした教職員一体の手厚いキャリア支援が特徴です。
多彩な細かいプログラムのなかで、とくに自己表現に力を入れています。

就職決定率(2014年3月卒業生)

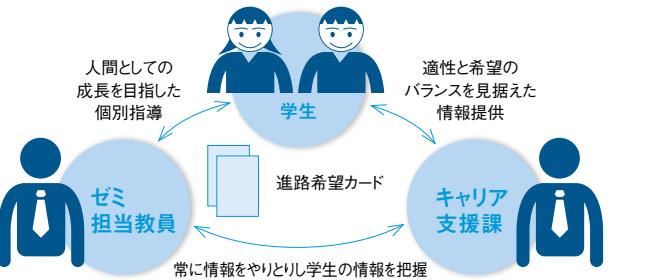
95.4%

- 卒業生 284名
- 就職希望者 240名
- 就職決定者 229名
- 進学者 1名

ポイント

1 三位一体のサポート体制

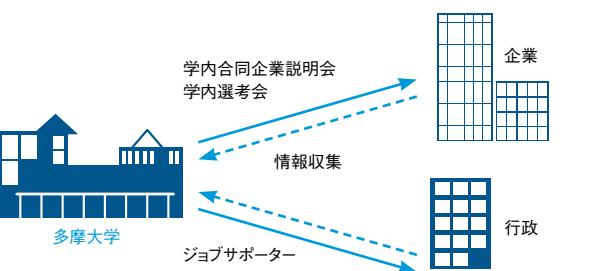
多摩大学ではキャリア支援課と学生だけではなく、各ゼミの担当教員とも密接に情報交換しながら三位一体のキャリア支援を実現しています。学生一人ひとりの性格や適性、状況等を把握しやすいゼミ担当教員が、積極的にキャリア支援を行っています。



ポイント

2 企業や行政との強い連携

採用意欲の高い企業や地元企業に積極的に働きかけ、学内合同企業説明会や学内選考会を開催。またハローワークのジョブサポーター制度を活用して就活に関わる情報を収集、多角的な情報提供を行っています。



ポイント

3 手厚くきめ細かなプログラム

3年次の春からキャリア支援の講座やガイダンスを毎週開催。仕事とは何か、就業力とはどのようなものかに始まり、自分の強み、面接の受け方、グループディスカッションなど、きめ細かに支援します。

就活準備特訓塾

就活への意欲の高い学生が参加し、専門講師による就活のトップランナーを育成する特訓塾。グループワークを重視し、ひとまわり大きな就業力や人間力を身につけることを目的としています。

●就活準備特訓塾 ●キャリア支援講座 ●就職ガイダンス ●適性検査・自己分析 ●試験対策 ●インターンシップ

インターンシップ情報

就職活動を行う準備段階として、学生はさまざまな企業でインターンシップを経験します。
実際のビジネスの現場を感じることで、就職についてより主体的に考えるようになります。

【インターンシップ実績】2013年実績

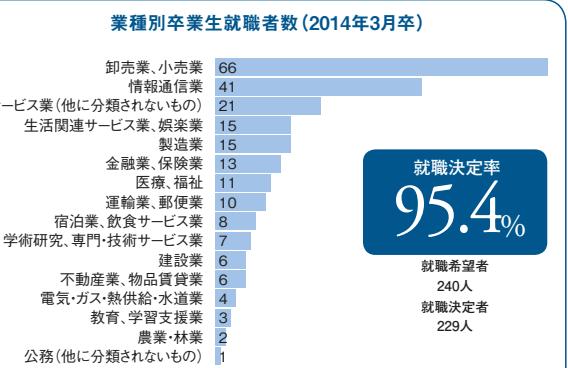
住友商事マシネックス(株)、(株)NKS能力開発センター、(株)フォーバル、(株)ライセンスアカデミー 大学新聞社、(株)オンザウェイ、(株)アクセスホールディングス、(株)多摩テレビ、(株)ディスコ、(株)小田急エージェンシー、(株)ポビンズ、(株)ビジョンサービス、(株)グリーンベル、(株)ナイスク、リコージャパン(株)、フジマニパブリッシング(株)、ホテル グリーンプラザチェーン、RAUL(株)、多摩大学情報社会学研究所、(株)ハチオウ、日本トイザラス(株)、(株)オーティーエス、(株)インフォテック、日本通運(株)、安藤物産(株)、万田商事 オリオン書房 立川ノルテ店、江ノ島電鉄(株)、(株)シーポン、小豆島ヘルシーランド(株)、(株)Olympic、(株)ユーミーネット、(株)フォーラムエイト、日本ハウズイング(株)、(株)アドックインターナショナル、(株)イード、(株)ニッポンダイナミックスシステムズ、(株)オギノパン、スフィーダ(株)、湘南技術センター(株)、NSユナイテッドシステム(株)、(株)ゼネット、ピップシステムズ(株)、(株)東邦事業 和幸商事(株)、(株)東計電算、日神不動産(株)、リゾートトラスト(株)、ニュートヨ(株)、日本ビューホテル(株)、レイテック(株)、(株)小田急リゾーツ、(株)東京オペレーションパートナーズ、佐藤農園、ヤオキン商事(株)、一般社団法人 日本ワーキングホリデー協会、トロコム(株)、公益財団法人 神奈川産業振興センター、クルールラボ(株)、川崎市男女共同参画センター 指定管理者・TEPCOパブリックサービス(代表・キャリアライズ)、(株)フュチャーフロンティアーズ、リソウル(株)（社会起業大学）、(株)アローズコーポレーション、多摩市役所、スカイビルサービス(株)、稻城市役所、(株)横浜フリエスポーツクラブ、町田市役所、(株)アドバンストラフィックシステムズ、(株)ホープス

【3年生対象】就職支援講座日程

		回数	内容	
			前期	
キャリア支援講座【インターンシップ】	キャリア支援講座	1回	～オリエンテーション～ サイト登録他	
		2回	～履歴書の書き方～ 体裁を整える	
		3回	～自己表現力向上WS①～ 表現力(挨拶)の大切さを体感する	
		4回	～ビジネススマナー講座～ 挨拶・身だしなみ・言葉遣い	
		5回	～就活サイトの使い方①～ リクナビ・マイナビ・就活ラボ	
		6回	～何のために働くか～	
		7回	～自己表現力向上WS②～ さまざまなコミュニケーション法	
		8回	～自己表現力向上WS③～ 自分自身を表現する	
		9回	～先輩体験談～ 先輩が語る 内定までの道～今、何をやるべきか?～	
		10回	～自己表現力向上WS④～ 究極の面接対策、前期振り返り	
		11回	～振り返り・夏休みに向けて～ 前期振り返りと夏休みの過ごし方	
キャリア支援講座	筆記試験実践講座	1回	～就職ガイダンス～ 就職活動準備スタート講座	
		2回	～筆記試験対策講座～ まずは「筆記試験・適性試験」をよく知ろう	
		3回	～職業興味検査(VPI)受験～ 「自分」のウリを知ろう①	
		4回	～労働法制セミナー～	
		5回	～自己分析①～	
		6回	～自己分析②～	
		7回	内容未定	
		8回	～自己PR①～ 「自分」のウリを伝えよう①	
		9回	～自己PR②～	
		10回	～業界研究・仕事研究～ どんな業界があるのか、どんな仕事があるのか	
		11回	～履歴書・ESの作り方①～	
		12回	～履歴書・ESの作り方②～	
		13回	～模擬グループ面接～	
		14回	～模擬グループディスカッション～	
春休み講座		SPI能力模試①②／オリエンテーション、方程式とるかめ算／不等式、論理(命題)／年齢算、N進法／濃度算、数列／仕事算、虫食い算／植木算、グラフと領域／損益算、ものの流れと比率／ブラックボックス、装置と回路、PERT法／旅人算①、通過算①、流水算①／旅人算②、通過算②、流水算②／順列、組み合わせ、確率①／順列、組み合わせ、確率②／集合、資料の読み取り、推論／展開図、図形／総まとめ		
		ガイダンスマナー／自己分析／自己PR作成／履歴書作成／面接：基礎練習／面接：実践練習／～就活サイトの使い方②～／登録・ログイン促進		

WS … ワークショップ ES … エントリーシート

卒業生データ(2013年度経営情報学部卒業生)



就職実績

少人数による双方向のセミナール形式を中心に養われた問題解決能力を活かし、学生は幅広い業界で活躍しています。

【主な就職先】2014年実績

【卸売業、小売業】(株)AOKI、青山商事(株)、(株)関東マツダ、(株)クロスカンパニー、(株)サンタバサジャパンリミテッド、サミット(株)、(株)サン德拉ック、(株)ジャパンビバレッジホールディングス、東京多摩青果(株)、(株)ときわスポーツ、トヨタ西東京カローラ(株)、日産プリンス神奈川販売(株)、(株)ノジマ、生活共同組合パルシステム東京、(株)ビックカメラ、(株)ファミリーマート、(株)フジデジタル、(株)メガネット、(株)ヨドバシカメラ【情報通信業】日本システムウェア(株)、ソフトバンクテレコム(株)、トランスクスモス(株)、NECネットワーキング(株)、協立情報通信(株)、旭情報サービス(株)、ソフトバンクテクノロジー(株)、国際ソフトウェア(株)【サービス業(他に分類されないもの)】(公社)ネットワーク多摩、ジェイコム(株)、(株)ヒューマントラスト【生活関連サービス業、娯楽業】読売旅行、浜友観光(株)、(株)資生堂【製造業】石川特殊特急製本(株)、綜合電子(株)、(株)光ケミカル、スタック電子(株)、(株)みやこ販本舗、大和冷機工業(株)、(株)三菱電機ドキュメンテクス【金融業、保険業】(株)ニュートンファイナンシャルコンサルティング、(株)アーブメント、いちよし証券(株)、平塚信用金庫、SMBC日興証券(株)、三条信用金庫、水戸証券(株)【医療・福祉】(一財)団法人大原総合病院、ニシケニアセンター八王子さんだ、(株)ケアサービス、日本メディカルサポート【運輸業、郵便業】東京地下鉄(株)、(株)東京エアポート、日本郵便(株)、(株)丸交通(株)、(株)国際自動車(株)【宿泊業、飲食サービス業】(株)四季リゾーツ、アバホテル(株)、(株)東急ラブズ、(株)LEOC、(株)ホテルマネージメントインターナショナル(株)、ハーベスト(株)【学術研究、専門・技術サービス業】NECフィールディング(株)、(株)サン・フレア【建設業】東日本ハウス(株)【電気・ガス・熱供給・水道業】町田ガス(株)、東京ガスライフパルE-D(株)、農事法人ゆりの里下古志ファーム【公務(他に分類されないもの)】神奈川県警察



グローバルスタディーズ学部の志

<http://www.tama.ac.jp/faculty/sgs/>

グローバルな問題を解決し、 グローバルな舞台で活躍する人材を育てる

近年、金融危機、地球環境問題、感染症対策などに見られるように、ひとつの国、地域で起きたことが、一瞬のうちに世界規模の問題になり、その解決には国を超えた取り組みが必要となります。またアニメやゲームなどの日本発の文化も世界に広がり、観光や旅行など人の移動がますます活発になり、それらを支えるホスピタリティ産業も発展しています。

しかし、このような発展は、グローバルな問題を引き起こす原因のひとつになっており、その対応や展開、課題の解決に日本の将来がかかっているのです。

グローバルスタディーズ学部が目指すところは「グローバルな問題を解決し、グローバルな舞台で活躍できる人材を輩出する」ことです。これからは、自分の考え方や思いを伝え、相手を理解するための英語力が求められています。本学部は学生個々の志を大切にし、世界に通用する知性と問題解決能力を持つ人材を育てます。

学部長メッセージ



グローバルスタディーズ学部
学部長

ウイリアム シャング
安田 震一

ラバーン大学(アメリカ)にて国際学および政治学を学び、コロンビア大学大学院在籍中に北京大学に留学し国際政治の研究を深めた。東京大学大学院地域文化研究専攻にて修士号および博士号を取得、香港大学アジア研究センター、岡山県吉備国際大学、東京大学国際ジャーナリズム寄附講座にて特任講師を経て現職。画像資料を用いた18-19世紀東西文化交流史を研究。

将来に向けて、 自分に合った居場所を探せる学部

本学部の目標は「グローバルな問題を解決し、グローバルな舞台で活躍できる人材を輩出すること」です。設立当初から英語に特化し、自分で「考える力」を身につけ、コミュニケーション力を向上させるとともに社会に役立てる実践的なスキルを学んでいきます。少人数制クラスを基本とし、1年次で英語力を伸ばし、2年次から英語でのコンテンツ科目に挑戦する一方、ホスピタリティ・マネジメント、国際教養などの専門コースを選択して社会に出る準備に励みます。小さなことから始め、一步一步前進する「Slow and Steady」な考えをもとに専門コースで努力すれば、4年後には自分の進む道を必ず見つけることができるでしょう。グローバルスタディーズ学部は、いろいろなことに挑戦でき、楽しく学べる学部です。

グローバル社会に必要な「英語コミュニケーション力」と「問題解決力」を養成

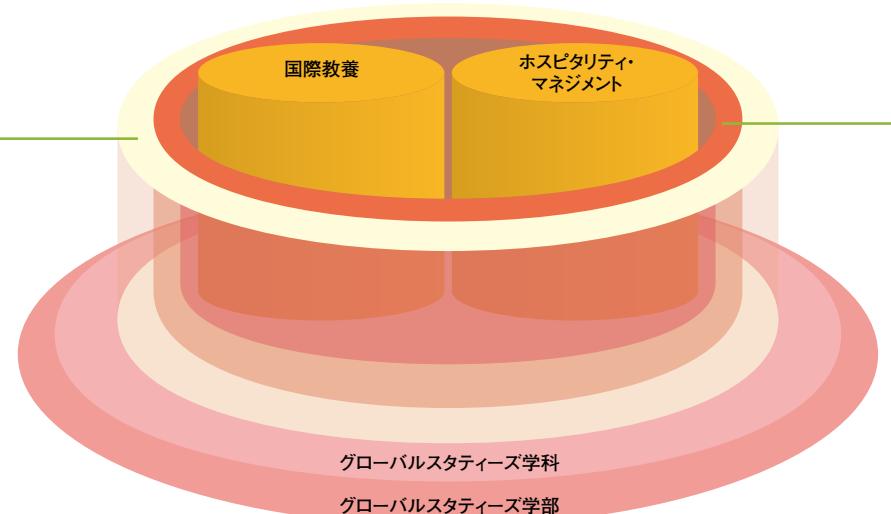
●基礎教育科目

グローバルな舞台では、国や地域によって文化や価値観が異なります。基礎教育科目では、このような多様な視点や考え方を学ぶことで、相違点だけではなく人間同士の共通点についても理解を深めます。環境や経済といった、地球全体で解決に取り組むべき課題について学びます。

英語集中教育(AEP)

1年次から2年次にかけて行われる英語集中教育が、AEPです。これは、本学部での専門分野の学びに必要不可欠な英語力を習得するプログラムです。国際ビジネスの現場で通用する英語力を身につけるために、多様なものの見方に触れ、考えを深め、異なる文化で育った人に、自分の意見や意志を伝えられるようになることを目指します。

AEP: Academic English Program



■幅広い選択肢を用意するグローバルスタディーズ学部

グローバルに活躍できる人材育成を目指す本学部は、海外だけに目を向けています。国内にある企業でも、海外との関係を深めている企業は急速に増えています。そうした企業に貢献できる人材を育成することも、本学部の大重要な使命のひとつです。



■将来の進路を視野に入れた「2つのコース」(2年次より選択)

●国際教養コース

ビジネス・国際関係分野など、あらゆるグローバルな舞台で活躍できる人材の育成を目指します。世界の多様な価値観や考え方だけでなく自国の文化や歴史に対する理解を深め、幅広い教養を身につけます。同時に、グローバルな問題の解決に必要な英語コミュニケーション力も習得します。

●ホスピタリティ・マネジメントコース

観光・レジャー・ホスピタリティ分野の職業人育成に特化したコースです。国際色豊かで、ホスピタリティ産業における実務経験の豊富な教員が、ホスピタリティのスキルとマインドを徹底指導。ホスピタリティを深く理解し、さらに実践する力を習得します。

TOPIC

「教職課程(英語)」課程認定申請について

グローバルスタディーズ学部グローバルスタディーズ学科において文部科学省に「教職課程(英語)」の課程認定申請を行いました。認可後、取得できる免許状は次のとおりです。

・高等学校教諭一種免許状(英語)

ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

グローバル社会に必要な「英語コミュニケーション」と「問題解決力」を養成

急速に進むグローバル化は、国内の企業も無縁ではありません。そのような舞台に求められるのは、グローバルな問題を解決し、グローバルな舞台で活躍できる人材です。グローバルスタディーズ学部(SGS)では、少人数対話型教育のメリットを活かした、英語コミュニケーション力向上を重視した学びと、グローバルな視野を持つ学びに力を入れています。カリキュラムの学びを支援するシステムとして毎日自由に利用ができる「学習支援室」を設置しています。ここでは、アドバイザーによる個別指導が受けられ、学習意欲を高めることができます。また先輩から学習支援を受けられる「ピアサポート制度」も設けています。

グローバルスタディーズ学部のミッション:「グローバル人材の育成」を図るための4要素

- 1. 少人数制**
語学力向上、コミュニケーション力アップを図ります。
- 2. 英語教育**
共通語として英語の修得、発信型を目指します。1年次は、1年間週8コマの集中教育を施します。
- 3. 留学プログラム**
日本とは全く異なる文化環境を体験、考え方の違いを知ります。
- 4. キャリア教育: インターンシップやキャリア講座**
海外で働くだけがグローバルではなく、日本で働くのもグローバル人材といえます。
中堅企業のグローバル化を手助けする人材も育成します。



グローバルスタディーズ学部 教員紹介

<http://www.tama.ac.jp/guide/teacher/index-sgs.html>

国際色豊かな教授陣によるグローバルな授業を展開しています。
手作り教育を大切に、学生と向き合います。



ウイリアム・シャング [安田震一] 学部長(教授) William Shang

【担当科目】
英語集中教育(AEP):Reading I・II、Listening and Pronunciation I・II、インターゼミナーI~IV

英語集中教育(AEP)



高橋 順子 教授 Takahashi Junko

【担当科目】
英語集中教育(AEP):Listening and Pronunciation I・II、資格英語I・II (TOEFL, TOEIC, IELTS特講)



石塚 智子 准教授 Ishizuka Tomoko

【担当科目】
英語集中教育(AEP):Speaking I・II、日英語比較による英語学概論、社会言語学



西井 賢太郎 専任講師 Nishii Kentaro

【担当科目】
英語集中教育(AEP):Listening II、Reading I、資格英語I・II(TOEFL・TOEIC、IELTS特講)、英語試験対策講座III



于 燕 非常勤講師 Yu Yan



ガルシア チェインバース 非常勤講師 Garcia Chambers



小滝 陽 非常勤講師 Kotaki Yo



高野 のぞみ 非常勤講師 Takano Nozomi



マイケル リッジリー 非常勤講師 Micheal Lidgley



ブライアン イングリッシュ 教授 Brian English

【担当科目】
英語集中教育(AEP):Reading I・II、Grammar and Writing I・II



小塚 晓絵 専任講師 Kozuka Akie

【担当科目】
英語集中教育(AEP)、Speaking I・II、Reading I・II



加藤 恵理 非常勤講師 Kato Eri



グレゴリー ラム 非常勤講師 Gregory Lum



シャロン・イシザキ 非常勤講師 Sharon Ishizaki



デバーンシェ チャウハン 非常勤講師 Devanshe Chauhan



油木田 美由紀 非常勤講師 Yukita Miyuki

その他基礎教育



竹内 一真 教授 Takeuchi Kazuma

【担当科目】
職業理解とキャリア、キャリア形成論



マーク ザイオン 准教授 Mark Zion

【担当科目】
Global Issues: Wealth and Poverty I・II、Studies in Global Events: Worldviews and Policy I・II、Volunteerism: A Historical Survey of NGOs I・II



大森 映子 教授 兼担 Omori Eiko

【担当科目】
日本の歴史



中澤 弥 准教授 Nakazawa Wataru

【担当科目】
日本語文章表現法、日本文学、湘南の文学、小論文対策講座、インテラセミナーI~IV



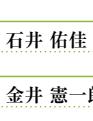
ポール マーサー 専任講師 Paul Mercer

【担当科目】
ピュアルコミュニケーション入門、記号論入門、21世紀ポストモダニズム後の世界、英語集中教育(AEP)



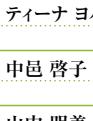
石井 佑佳 非常勤講師 Ishii Yuka

【担当科目】
金井 憲一郎 非常勤講師 Kanei Kenichiro



田中 雄 非常勤講師 Tanaka Yu

ティーナ ヨハンナ マティカイネン 非常勤講師 Tiina Johanna Matikainen



中川 讓 非常勤講師 Nakagawa Yuzuru

中邑 啓子 非常勤講師 Nakamura Keiko



保井 俊一郎 非常勤講師 Yasui Shunichiro

山内 明美 非常勤講師 Yamauchi Akemi



吳 燕 非常勤講師 Wu Yan

【専門教育教授陣】ホスピタリティ・マネジメント



市岡 浩子 教授 Ichioka Hiroko

【担当科目】
英語集中教育(AEP) : Listening and Pronunciation I・II、Travel and Tourism Workplace English I・II、Internship Abroad、観光II



テレンス ジョイス 教授 Terrence Joyce

【担当科目】
心理学入門、認知心理学、社会科学のための統計、言語心理学、文化心理学



太田 哲 専任講師 Ota Satoshi

【担当科目】
文化グローバリゼーション入門、消費主義の比較文化論、日本社会と文化:文化人類学的視点、日本の職場、消費社会と日本の大衆文化



市瀬 博基 非常勤講師 Ichise Hiroki



小山 知子 非常勤講師 Koyama Tomoko



萩原 浩一 非常勤講師 Hagiwara Hirokazu



宮田 優子 非常勤講師 Miyata Yuko



浦上 ヤクリン 非常勤講師 Urakami Yakurin



竹内 万里 非常勤講師 Takeuchi Mari



藤田 智子 非常勤講師 Fujita Tomoko



三吉 美加 非常勤講師 Miyoshi Mika



【業務委託】西村 剛 (ANA総合研究所)



【業務委託】田中 祥司 (JTB)

【専門教育教授陣】国際教養



アイグル クルナザロバ 教授 Aigul Kulnazarova

【担当科目】
国際関係論入門、国際法と国際機関、人間安全保障、民主主義とリーダーシップ、グローバルヒストリー、グローバルスタディーズ入門



村田 ソラチ 貴美代 教授 Murata-Soraci Kimiko

【担当科目】
哲学入門、法と国家:植民地の現実、芸術という価値、日本文化と自己形成、日本人とアジアの美学、日本人の宗教観



エリック ホノベ 准教授 Erik Honobe

【担当科目】
経営学入門、多国籍企業会計、英文会計基礎、金融論、国際会計論



渡邊 泰典 准教授 Watanabe Yasunori

【担当科目】
経済学入門、マクロ経済学、統計学入門、ミクロ経済学



張 琦 准教授 Zhang Qi

【担当科目】
情報ネットワーク、ビジネス情報処理、情報倫理とセキュリティ、マルチメディア情報処理、情報化社会とグローバル化、情報管理:データベース理論と実践



飯田 健雄 教授 兼担 Iida Takeo

【担当科目】
比較経営学、異文化間マネジメント



佐藤 美津子 非常勤講師 Sato Mitsuko



立田 由紀恵 非常勤講師 Tatta Yukie



藤田 賀久 非常勤講師 Fujita Norihsa



渡辺 智信 非常勤講師 Watanabe Tomonobu



【業務委託】猪狩 真弓 (ABIC)



【業務委託】畠野 浩 (ABIC)

グローバルスタディーズ学部 キャリアサポート <http://www.tama.ac.jp/career/sgs/>

グローバルな舞台で活躍できるための、きめ細かいキャリアサポートが特徴です。

英語を基本とした対話形式の授業をベースに、1年次から実施しているキャリア形成論をはじめとするワークショップ形式の実践的なキャリア関連授業、支援講座、そして2年次から始まる国内外の豊富なインターンシップ体験がグローバル人材を育成します。

就職決定率(2014年3月卒業生)

93.2%

- 卒業生 111名
- 就職希望者 73名
- 就職決定者 68名
- 進学者 1名

ポイント

1 国内・国外で実施するインターンシップ

2年次から国内インターンシップ、3年次に海外インターンシップを取り入れています。早期の参加は就職のみを目的にせず、より客観的に社会に出て働くことの意味を理解でき、大きな成長につながっています。

ポイント

2 実践的なキャリア支援講座を展開

3年次に実践的な就職対策講座を毎週、ワークショップ形式で開講しています。講座内容は、自己分析、自己PR、面接対策や業界・職種研究など、実践的な力を身につけることができます。

ポイント

3 学生の適性、個性、能力等に合ったアドバイス

1年次の進路調査から始まり、2年次、3年次で個人面接を実施。また、定期的な面談だけでなく、随時、個別相談に応じています。職員と教員との連携により、学生の希望、適性、個性、能力などに合ったアドバイスを行っています。

インターンシップ情報

就職活動を行う準備段階として、学生はさまざまな企業でインターンシップを経験します。

実際のビジネスの現場を肌で感じることで、就職についてより主体的に考えるようになります。

【インターンシップ実績】2008~2013年実績

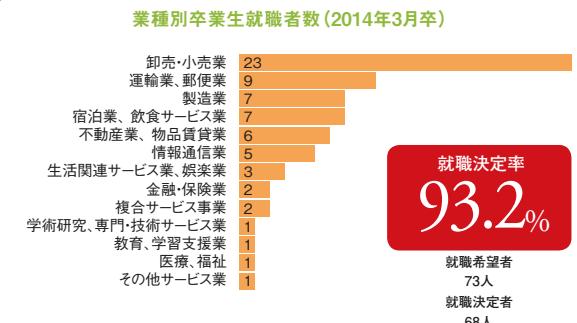
日本水産(株)、サンゴパン(株)、加藤段ボール(株)、三井物産メタルズ(株)、三井物産スチール(株)、東邦物産(株)、(株)トライネット(三井物産グループ)、神奈川トヨタ自動車(株)、(株)マガスポーツ、レイフラー、ノースエスト航空、スカイビルサービス(株)、セアニア交流センター(株)、グローバルアカデミア、NPO留学協会、(株)サクシオ、(株)よしソア、ウイッシュインターナショナル(株)、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル、ヒルトン東京ベイ、グランドホテル湘南、パンパンフィックホテル横浜、ホテルニューグランド、クリスタルホテル、横浜ベイシェラトン、ロイヤルパークホテル、パーカイン、日本ビューホテル(浅草ビューホテル)、ホテルメトロポリタン盛岡、リゾートトラスト(株)、(株)横浜八景島、(株)GPlusMedia、アデコ(株)、(株)ペイサイドカンパニー、(株)リアセット、(株)ワイスプラス、(株)ナジック・アイ・サポート、(株)ディスコ、NKS能力開発センター、(株)ライセンスアカデミー大学新聞社、藤沢エフエム放送(株)、アビーシー・ワールド、(株)アルファ映像、(特活)横浜コミュニティデザインラボ、沖縄テレビ放送(株)、(株)データピア、(株)ジビターテレコム、(株)タウンニュース社、(有)江ノ電沿線新聞社、アセット婦人画報社、フジマニバブリッジング(株)、クレエ(株)、(株)ラウンズ、ユーミーケア、神奈川福祉経営研究所、(株)オディッセイコミュニケーションズ、隠れ里車屋、上町63、レストラン・パビ(株)エデュケーションプランニング、江の島ボウリングセンター、大塚商事(株)、(株)三城、(株)ボーラ、葉山インターナショナルスクール、(株)キンダーナーサリーコーポレーション、(株)シーボン、(株)パノナフォスター、(公財)日本フィランソロピー協会、(特活)ワールド・ビジョン・ジャパン、三井ボランティアネットワーク事業団、(特活)日本キャリアビジョン研究所、(特活)地球市民ACTかながわ、トビムシ、エイブル・アー、ジャパン、(一社)日本ワーキングホリデー協会、(特活)藤沢市市民活動推進連絡会、参議院議員、風間直樹事務所、参議院議員、つし恵事務所、横浜市役所都市整備局、川崎市役所、長野市社会福祉協議会、横須賀商工会議所、(公社)藤沢市観光協会、マジカルアートルーム、コントロールプラス(株)、(株)ワズネット、(株)エスワイシステム、湘南技術センター(株)、(株)つばさエンタテイメント、エイベックス・グループ、ホールディングス(株)、(株)ドリームミュージック、(株)ムーヴメント、(株)エスカーダ・ジャパン、(有)ワイ・ディ・エフ、横浜FC、(株)アンビションアクト、(公財)日本国際フォーラム、(公財)日本ユニセフ協会、(医)横浜柏提会 戸塚共立第一病院、(学)荘司学園 西三田幼稚園

キャリア支援講座メニュー 対象:3年生(参加は必須です)

No.	2014年度 春学期	持物
1	第1回就職ガイダンス(就活オリエンテーション) (①講座メニュー説明、②就職活動の全体説明/概要説明 -マイナビ)	
2	「業界」ってなに? 「業種」ってなに? 経済社会で、その会社が“役に立っているフィールド”を知る	
3	「夏のインターンシップ」とは? ~参加する意味とその効果~ (エントリー文章作成講座-概要説明とインターンシップの利用の仕方)	
4	インターンシップ情報ナビサイト登録&説明会	
5	就活マナー講座(説明会、面接対策として) (説明会や面接で困らないマナー(作法)を学ぶ!)	
6	就活のための「新聞-読み方講座」	
7	会社の探し方①(業界研究講座-主な業種) 初級編	
8	会社の探し方②(産業の仕組み、職種/職制の整理) 中級編	
9	会社の探し方③(企業研究講座-説明会の歩き方、業界構造マップの作り方) 実践編	
10	Web模擬試験(SPI、一般常識、時事問題)と解説会(1) (書籍配付-これがホントのSPIだ!)	PC
11	第2回就職ガイダンス~振り返り~ (春学期の整理/夏休み中の宿題)	

No.	2014年度 秋学期	持物
1	第3回就職ガイダンス「就職すること-生涯賃金についての話-」	就活ハンドブック
2	性格適性検査「R-CAP」と強み発見診断「STRENGTH」受検会	PC
3	卒業生、内定者の就職体験談、アドバイス/必要なモノ・コト	
4	Web模擬試験(SPI、一般常識、時事問題)と解説会(2)	PC
5	解説会-職業適性検査「R-CAP」	R-CAP / STRENGTH診断結果
6	解説会-「STRENGTH」自分の強みを知る	R-CAP / STRENGTH診断結果
7	「自己PR作成」ワークショップ(R-CAP/STRENGTH利用)	R-CAP / STRENGTH診断結果
8	業界研究会(外部企業)1	
9	業界研究会(外部企業)2	
10	「自己PR添削」フィードバックセミナー	R-CAP / STRENGTH診断結果
11	「志望動機作成」ワークショップ(R-CAP/STRENGTH利用)	R-CAP / STRENGTH診断結果
12	「エントリーシート作成」ワークショップ(R-CAP/STRENGTH利用)	R-CAP / STRENGTH診断結果
13	「面接対策」ワークショップ(R-CAP/STRENGTH利用)	R-CAP / STRENGTH診断結果
14	マイナビリクナビ登録会	PC
15	Web模擬試験(SPI、一般常識、時事問題)と解説会(3)	PC
16	第4回就職ガイダンス「秋学期の整理&直前対策」	就活ハンドブック
17	模擬面接会(実際にグループ面接形式を体験! 面接の受け方の実践体験をする)	履歴書

卒業生データ(2013年度グローバルスタディーズ学部卒業生)



就職実績

実践的な授業や留学で身についた主体性などを軸に、学生はさまざまな業界で活躍しています。

【主な就職先】2014年実績

【製造業】三菱自動車工業(株)、中川装身具工業(株)、横浜日野自動車(株)、エアポートカーゴサービス、日本空輸(株)、トレー・ディア(株)、丸全昭和運輸(株)、日本トラフィックサービス、エアリンク(株)、新開トランスポートシステムズ(株)、エアポートカーゴサービス、日本空輸(株)、卸売業、小売業、運輸業、郵便業、製造業、宿泊業、飲食サービス業、不動産業、物品販賣業、情報通信業、生活関連サービス業、娯楽業、金融・保険業、複合サービス事業、学術研究、専門・技術サービス業、教育、学習支援業、医療、福祉、その他サービス業
【情報通信業】(株)ヒューマンクレスト、ネオプロモーション(株)、アクセスネット、SGS(株)、(株)フィールド、(運輸業、郵便業)東日本旅客鉄道(株)、全日本空輸(株)、トレー・ディア(株)、丸全昭和運輸(株)、日本空輸(株)、トヨタ自動車(株)、(株)ナムラオブティクス、(株)ワタナベ、(株)みのや、三栄(株)、(株)イッセイ・ミヤケ、(株)スタイル、(株)馬里奈、(株)カフェレオ、(株)セイツヨウ(株)、(株)神奈川ダイハツ販売(株)、(株)シュー・ガーマ・トリックス、(株)小泉、(株)ハナムラオブティクス、(株)ワタナベ、(株)みのや、三栄(株)、(株)ニューウェイ・ジャパン(株)、(株)ナノ・ユニアース、(株)梅田モータース、(株)アートインターナショナル(株)、(株)グリムス、(株)生命保険(相)、(株)庄司(湘南台第一ホテル)、(株)ランドネクサス、(株)ボルテックス、(株)スイホーム(株)、ケインズ、(株)ナイスコミュニケーションズ(株)、(株)日本エスコン、(株)カトーブレジャーグループ、(株)エスエルティー、(株)オノゼキトーレーディング(株)、(株)シーガーレディ、(株)くらコーポレーション、(株)庄司(湘南台第一ホテル)、(株)ランドネクサス、(株)アーバン・リソース、(株)さなるほか

■ 資格取得支援 <http://www.tama.ac.jp/career/smis/002.html>

所定の課目を履修すれば、高等学校教諭一種免許課程「情報」、社会調査士の資格を得ることができます。
また就職活動を有利に進められる資格の取得を支援しています。

■ 取得できる資格

□ 高等学校教諭一種免許課程「情報」

経営情報学部では、教職課程を修了すれば高等学校教諭一種免許課程「情報」を取得できます。

□ 社会調査士

経営情報学部では、社会調査士実習I・IIのほか、必要な科目を履修し、単位を修得すれば社会調査士の資格を取得できます。

□ 高等学校教諭一種免許課程「英語」 <http://www.tama.ac.jp/topics/news/2014/05/post-1661.html>

グローバルスタディーズ学部グローバルスタディーズ学科において、文部科学省に「教職課程(英語)」の課程認定申請を行いました。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。(課程認定申請中)

■ 支援する資格

- TOEIC®
- 簿記検定
- カラーデザイン検定
- 公務員
- ITパスポート
- 基本情報技術者
- MOS (Microsoft Office Specialist)
- 医療事務

TOEIC® 受験料補助制度

グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図るべく、TOEIC® 団体特別受験を受ける学生へ受験料の特別補助制度を設けています。

MOS受験料補助制度

MOSはパソコンスキルを客観的に証明する資格です。本学では学内実施のMOS試験を受ける学生を対象に受験料補助制度を設けています。社会人基礎力の一部としてパソコンスキルを習得することを援助しています。

■ 平成26年度 多摩大学資格支援講座

経営情報学部では、就職活動を有利に進めるために資格の取得・資格講座の受講を推奨しています。
年間を通して好きな時期に興味のある講座に申し込むことができますので、計画的に資格・検定の取得が可能です。

● 提携学校

経営情報学部では「資格の大原」と「ヒューマンアカデミー」と提携しています。資格取得講座はどちらかの学校に通うことになります。多摩大学を通して申し込むと受講料が割引になり、直接申し込むよりも格安で受講することができます。校舎は自宅や学校に近い好きな場所を選ぶことができます。

【平成26年度 多摩大学 資格講座一覧】

分野	資格名
会計系	公認会計士／税理士／簿記／建設業経理士／米国公認会計士／BATIC・英文会計
法律系	司法書士／社会保険労務士／行政書士／宅地建物取引主任者／マンション管理士／管理業務主任者／ビジネス実務法務検定
経営・実務系	中小企業診断士／ファイナンシャルプランナー／旅行業務取扱管理者／実務力養成シリーズ／公会計
語学系	日本語教師
情報系	ITパスポート／基本情報技術者／応用情報技術者／情報セキュリティスペシャリスト／ネットワークスペシャリスト データベーススペシャリスト／MOS Word/MOS Excel
医療福祉系	医療事務／介護福祉士／介護職員初任者研修／チャイルドマインダー／社会福祉士
公務員	公務員(事務系)／公務員(警察官・消防官)
ピューティー系	ネイル技能検定
ライフ・カルチャー系	色彩検定／カラーデザイン検定／フードコーディネーター／ブライダルプランナー／語彙・読解力検定(受験料補助)

● 奨励金制度

本学を通して資格講座を受講した場合、語彙読解力検定の学内受検に申し込み指定の級以上を受検した場合は、一定額の奨励金を受け取ることができます。

*奨励金受取方法: 推奨資格の講座を受講すると自動的に奨励金が支給されます。奨励金は受講申込後、または学内受検実施後一ヶ月ほど後に現金で支給する予定です。
※一覧表に記載されていない資格講座を受講する場合は、大学からの奨励金は支給されません。

■ 奨学金制度・学費ローン

[特待生奨学金]

本学を第一志望とし、将来、グローバル社会やIT社会での活躍が期待できる資質を持つ者のうち、特待生としての基準に達した者の中から、奨学金(最大96万円)を給付する制度です。

対象費用	区分A：入学時に納入すべき学費の全額 区分B：初学期分の授業料 区分C：初学期分の授業料のうち20万円
入金方法	入学時に、各区分の給付額を学納金から減免する。
返済方法	なし(返還不要)

■ 特待生奨学金制度概要

「志」AO入試(コミュニケーション型Ⅲ期除く)、一般入試、センター試験利用入試の合格者のうち、特待生としての基準に達した者の中から奨学金を給付します。

■ 「志」AO入試 体育会(フットサル)特待生奨学金制度

「志」AO入試コミュニケーション型Ⅰ期、Ⅱ期の面談結果が合格基準をクリアし、フットサル実技試験の結果、特待生としての基準に達した者の中から奨学金(最大96万円)を支給します。なお、特待生としての基準に達していない場合でも、「志」AO入試の面談結果が合格基準に達している場合には、一般合格扱いとなり、フットサル部へ入部できます。

■ 「志」AO入試 体育会(フットサル部マネジメントスタッフ)特待生奨学金制度

「志」AO入試コミュニケーション型Ⅰ期、Ⅱ期の面談結果が特待生としての基準に達した者の中から奨学金(最大96万円)を支給します。なお、特待生としての基準に達していない場合でも、「志」AO入試の面談結果が合格基準に達している場合には、一般合格扱いとなり、フットサル部マネジメントスタッフとして入部できます。

[成績優秀者奨学金]

区分	奨学金支給額	奨学生数	選考方法
1	経営情報学部 350,000円(当該学期分の授業料)	1年次から3年次の各学期1名	各学期毎、学年別成績が上位の者から順に区分1及び区分2の奨学生候補者を選考
	グローバルスタディーズ学部 450,000円(当該学期分の授業料)		
2	50,000円	1年次から3年次の各学期 経営情報学部 20名以内 グローバルスタディーズ学部 10名以内	

[海外留学奨学金]

学業成績が優秀で人物・健康ともに優れ、他の学生の模範となり将来グローバルな活躍を期待できる人材の輩出を支援するため、本学が指定した海外留学を希望する学生に奨学金を給付します。

(経営情報学部)

区分	奨学金支給額	奨学生数	選考方法
1	200,000円	短期5名以内	
2	600,000円	長期5名以内	書類審査及び面接

(グローバルスタディーズ学部)

区分	奨学金支給額	奨学生数	選考方法
1	100,000円	短期20名以内	
2	200,000～600,000円	長期10名以内	書類審査及び面接

[多摩大学学費ローン]

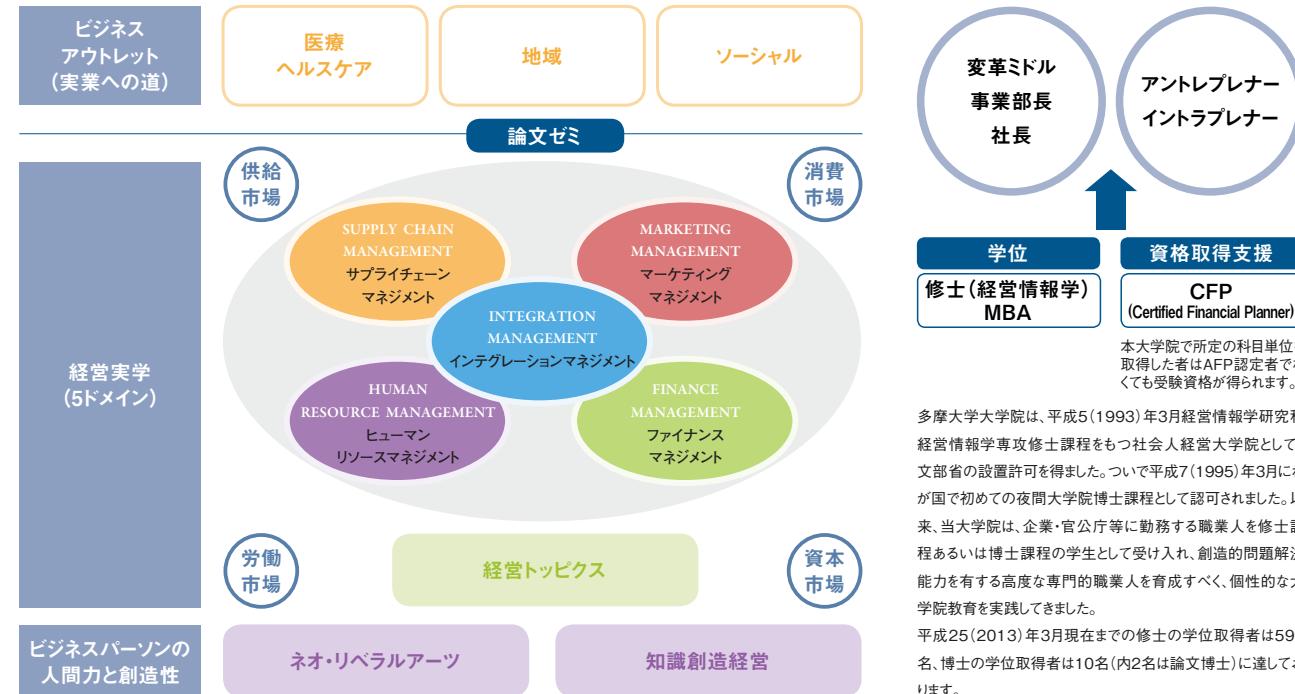
対象者	本学入学予定者の保護者 ※外国人留学生は利用できません。
対象費用	学生一人あたり 100,000～5,000,000円 入学金・授業料(春学期)・施設費・施設拡充費・図書教材費・後援会費・同窓会費 ※入学後も利用可能です。
利率	多摩大学優遇金利(固定金利) 4.3% ※2014年4月1日現在
入金方法	オリコから本学へ直接入金
返済方法	ローン利用の翌月から自動振替。方法は以下の2つから選択できます。 ①通常返済: 学生の在学中から予め指定した金額を毎月返済する。 ②ステップアップ返済: 学生の在学中は元金を据え置き、手数料のみ毎月返済。卒業後に通常返済する。

[その他の奨学金制度]

独立行政法人日本学生支援機構(旧日本育英会)の奨学金制度を利用できます。
採用された場合、月額30,000円～120,000円の貸与が受けられます。



志ある 一業を担うマネージャー・
一業を起こす起業家を育てる



■ 5つのドメイン

- ファイナンスマネジメント : 金融・会計・法務・リスクマネジメントを「総合」して学ぶ。
- サプライチェーンマネジメント(SCM) : SCMで「SCMを通じて見る経営全体」を学ぶ。
- ヒューマンリソースマネジメント : 「企業は人なり」を原点から実践知まで体系的に学ぶ。
- マーケティングマネジメント : マーケティングを幅広く学べる充実した科目群を配し、マーケティング・プロフェッショナルを目指す。
- インテグレーションマネジメント : 上記4機能に加えてそれらを総合的にマネジメントする。

研究科長メッセージ

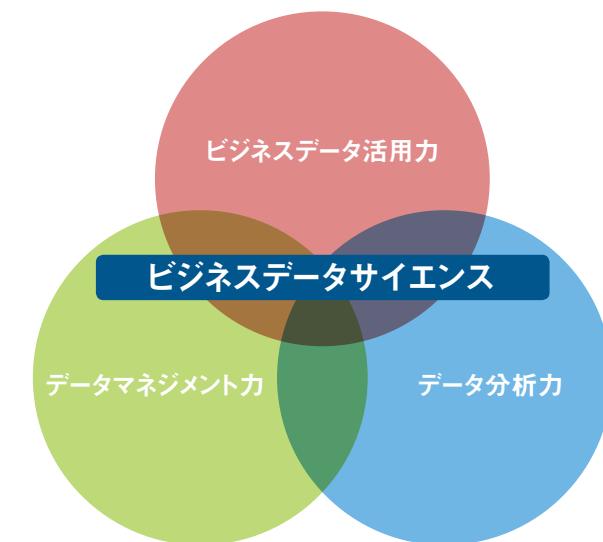


東京大学教養学部国際化関係論卒。日産自動車人事部、欧州日産を経て、2009年よりコミュニケーションコンサルティングでは世界最大手の米ライシュマ・ヒラードの日本法人のSVP/パートナー、人事制度、風土改革、社内コミュニケーション、レビューションマネジメント、リーダーシップ開発などを従事。著書に「MBB:「思い」のマネジメント」(野中郁次郎教授、一條和生教授との共著)、「ビジネスモデルインベーション」(野中教授との共著)など多数。

研究科長・教授 德岡 晃一郎

日本は「課題先進国」と呼ばれるほど、様々な課題を抱えています。課題を解決するには、プロジェクトマネージャーが必要です。そこで多摩大学大学院では、課題の中からテーマを決めて、どう解決したいのかビジョンを作り、ヒト・モノ・カネ・情報を集めて、プロジェクトを推進していく人材の育成に力を入れています。プロジェクトを進めていくリーダーに求められるのは、目の前の課題解決力ではなく、真に世の中に役に立てる事をしたいという高い志を持てるかどうかです。短期的な利益だけを求めて、自分や自社さえよければそれでいいという発想では、多くの人を巻き込むことができず、プロジェクトは成功しないでしょう。多摩大学大学院では、社会に必要なプロジェクトを的確にマネジメントをしていくための思想、スタイル、論理的思考力、実務的な実行力などを学んでいきます。例えるなら“知的格闘技”的場。企業人のミドル層の人たちが、真に実現したい想いとは何なのか。そのために必要な実践力とは何なのか。ビジネス実務経験のある教員が、理論を教えるだけの講義をするのではなく、ビジネスの現場ですぐに応用ができる実践的な内容を教えていきます。

ビジネスでの課題解決に
データを活かせるビジネスパーソンへ



■ ビジネステータサイエンスコース 5つの特徴

- 特徴1 分析手法を単なる知識としては学ばない**
多摩大学大学院は「実学」志向。ビジネスデータサイエンスを理論ではなく、武器として習得をすることを目指します。そのため統計的問題解決力を修得します(統計検定資格取得)。
- 特徴2 2年を待たずに成果を得る**
成果を出すのに2年も待てないことが多いはず。月に一回(土曜日)、院生が抱える課題について発表・議論する場を確保し、「今、解決したいことは今、挑む」というスタイルを採用します。
- 特徴3 充実の講師陣による経営実学指導**
実学とサイエンスとの融合。データ分析、データマネジメントのスペシャリストに加え、コンサルティングや戦略立案などを行ってきた経験豊富な教授陣が指導を行います。
- 特徴4 先端事例と現場で活躍中のデータサイエンティストに学ぶ**
最前線で活躍中のデータサイエンティストによるオムニバスの講義を展開することで、アカデミックとビジネスデータサイエンスの現場をリンクした学びの場を開拓します。
- 特徴5 ビジネスパーソンならではの学びをサポート**
平日週2日+月1回土曜日、通学しやすい都心キャンパス(品川)で開講。ビデオ補講もあります。MBAコースの講義も受講でき、社会人の学習支援対象コースとして補助金の活用も可能です。(厚生労働省の教育給付制度の対象コースです)

大学院 ビジネステータサイエンスコース
<http://www.tama.ac.jp/ict/>

ビジネスデータサイエンスコース長メッセージ



多摩大学経営情報学部・経営情報学研究科教授。日本分類学会会長。日本行動計量学会理事。日本学术会議連携委員。統計検定運営委員会委員。統計的データ解析、とくに多变量解析を適用できる諸問題について、理論的研究と実際の解決法の研究を進めてきた。不十分な情報のもとでのモデル構成や非線形構造、時間的変化構造の分析法などをも扱っている。

コース長・教授 今泉 忠

日々蓄積されるビジネスデータ。このデータにこそビジネスの知が宿っています。この知を引き出すのが、統計学やデータ分析。しかしながら、これら統計解析力やデータ分析力は、社内的一部の部署や専門家がマスターすればよいというものではなくなります。ビッグデータ時代の今、求められるのは、ビジネスの最前線で活躍するビジネスパーソンがより高度なデータ活用力を身につけ、課題解決を行えること。まさに、ビジネスデータサイエンティストが求められています。そのため必要なのは、3つの力:「ビジネスデータ活用力」、「データ分析力」そして「データマネジメント力」です。多摩大学大学院では、これら3つの力を身につけ、データをビジネスに活かして課題解決を行える人材を養成する場として、ビジネスデータサイエンスコースを開講しています。

実務経験豊富な充実の教授陣

企業、官公庁をはじめさまざまな分野で実務経験のある教授が揃っています。

教員1人に院生2人という少人数制で、教員と院生、院生同士の密接な交流による「知の創発」が日々行われています。



学長



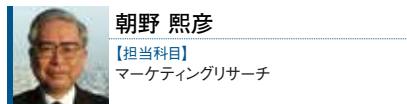
副学長

MBAコース



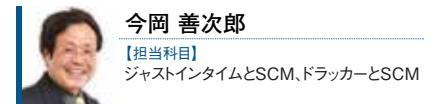
研究科長 徳岡 晃一郎

【担当科目】
ヒューマンリソースマネジメント概論、インナーコミュニケーション、カルチャーベースマネジメント



朝野 熙彦

【担当科目】
マーケティングリサーチ



今岡 善次郎

【担当科目】
ジャストインタイムとSCM、ドラッカーとSCM



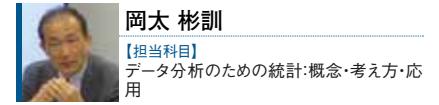
宇佐美 洋

【担当科目】
ファイナンスマネジメント概論、ビジネス環境と法、ビジネス倫理と法



歌川 令三

【担当科目】
比較文化論



岡太 彰訓

【担当科目】
データ分析のための統計:概念・考え方・応用



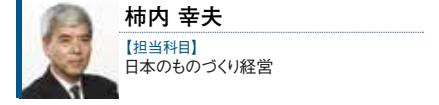
長 英一郎

【担当科目】
会計・診療報酬制度と医療経営



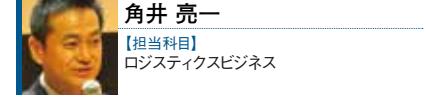
小野里 光博

【担当科目】
実践ファイナンス数学



柿内 幸夫

【担当科目】
日本のものづくり経営



角井 亮一

【担当科目】
ロジスティクスビジネス



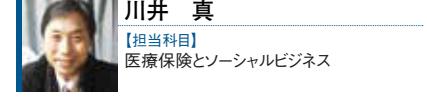
金子 智朗

【担当科目】
管理会計



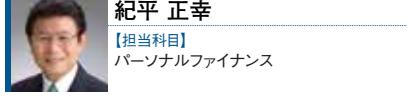
亀井 省吾

【担当科目】
地域事業経営



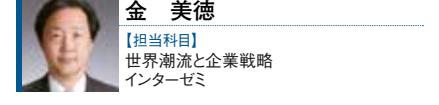
川井 真

【担当科目】
医療保険とソーシャルビジネス



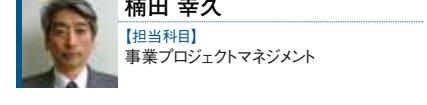
紀平 正幸

【担当科目】
バーソナルファイナンス



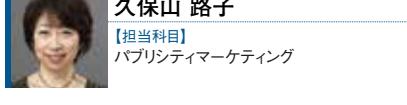
金 美徳

【担当科目】
世界潮流と企業戦略
インターネット



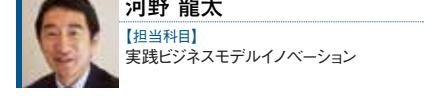
楠田 幸久

【担当科目】
事業プロジェクトマネジメント



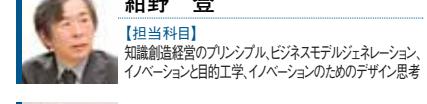
久保山 路子

【担当科目】
バリューティマーケティング



河野 龍太

【担当科目】
実践ビジネスモデルイノベーション



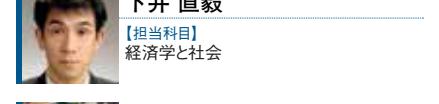
紺野 登

【担当科目】
知識創造経営のプリマリティ、ビジネスモデルイノベーション、イノベーション目的工学、イノベーションのためのデザイン思考



佐藤 勝彦

【担当科目】
実践人事戦略



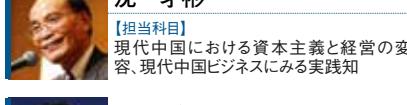
下井 直毅

【担当科目】
経済学と社会



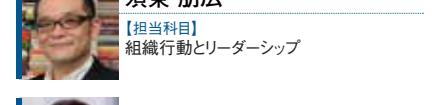
首藤 明敏

【担当科目】
ブランド戦略



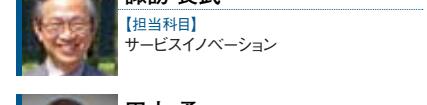
沈 才彬

【担当科目】
現代中国における資本主義と経営の変容、現代中国ビジネスにみる実践知



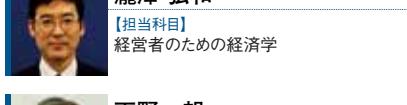
須東 朋広

【担当科目】
組織行動とリーダーシップ



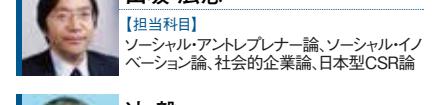
講師 良武

【担当科目】
サービスイノベーション



瀬澤 弘和

【担当科目】
経営者のための経済学



田坂 広志

【担当科目】
ソーシャル・アントレプレナー論、ソーシャル・イノベーション論、社会的企业論、日本型CSR論



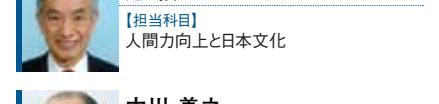
田中 勇一

【担当科目】
社会的企業家演習



丁野 朗

【担当科目】
地域観光ビジネス



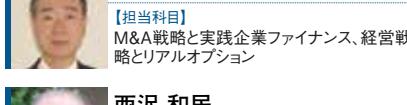
辻 敏

【担当科目】
人間力向上と日本文化



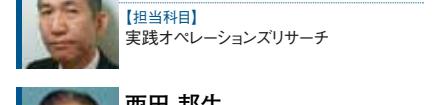
土屋 有

【担当科目】
実践Webマーケティング



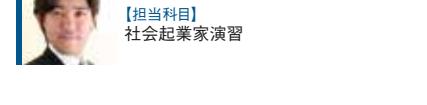
中岡 英隆

【担当科目】
M&A戦略と実践企業ファイナンス、経営戦略とリアルオプション



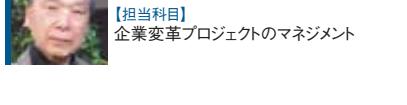
中川 義之

【担当科目】
実践オペレーションズリサーチ



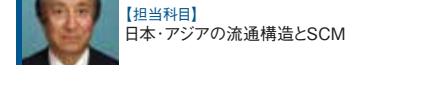
中村 大作

【担当科目】
社会起業家演習



西沢 和民

【担当科目】
企業変革プロジェクトのマネジメント



西田 邦生

【担当科目】
日本・アジアの流通構造とSCM



橋本 忠夫

【担当科目】
インテグレーションマネジメント概論



橋本 大也

【担当科目】
Webマーケティングイノベーション



濱田 隆道

【担当科目】
行動経済学



浜田 正幸

【担当科目】
実践組織変革



原田 保

【担当科目】
マーケティングコンテクストデザイン、地域デザイン戦略、新事業創造戦略



久恒 啓一

【担当科目】
図解コミュニケーション



横渡 淳二

【担当科目】
実践ファイナンスリスクマネジメント



福島 純夫

【担当科目】
金融市場の変化と企業経営



本荘 修二

【担当科目】
実践アントレプレナーシップ



舞田 竜宣

【担当科目】
モチベーションとエンゲージメント



前川 慶一

【担当科目】
実践企業戦略



真野 俊樹

【担当科目】
医療介護産業の現状と今後、医療介護マネジメント、ヘルスケアの未来



明賀 義輝

【担当科目】
トータルビジネスシミュレーション



村山 貞幸

【担当科目】
マーケティングマネジメント概論



望月 照彦

【担当科目】
地域事業創造



ハツ井 久嘉

【担当科目】
タックスプランニング



柳 孝一

【担当科目】
ベンチャー経営



吉松 敏也

【担当科目】
欧米マーケティングの実際と活用



山岡 隆志

【担当科目】
デジタル時代のマーケティング戦略



今泉 忠

【担当科目】
ICT基礎技術入門(サーバ構築とR入門)、ICTマーケティング</

■多摩大学同窓会



多摩大学同窓会会員数 6,235名(2013年3月末)

会長	黒瀬 洋	7期
副会長	片山 洋志	6期
委員	佐野 公洋	5期
委員	佐藤 武史	7期
委員	水滸 晃	8期
会計監査	福田 友哉	4期
評議員	坂田 孝一	4期
評議員	鈴木 信夫	3期

■多摩大学同窓会プレゼンツ 「社会人力育成セミナー」開催

平成26(2014)年3月26日(水)19:00~21:00に九段サテライトにて、多摩大学同窓会の企画による、「社会人力育成セミナー」が行われ、20名の参加がありました。久恒啓一教授による、「社会人のための「図解」活用術～多摩大の戦略を題材に～」というテーマでの講演の後、九段サテライトの一階にあるカフェ「みねるばの森」にて懇親会が行われました。



■卒業生メッセージ

幅広い業界で活躍している多摩大学の卒業生たち。彼らが大学で身につけた力、その力を社会でどう活かしているか？卒業生たちの姿を通して、多摩大学で養われる力に迫ります。

■相手の気持ちをくみ取る、コミュニケーションの重要性

大学時代は、大学内で最も規模の大きかった「アボガド」というテニスサークルの活動に力を入れました。加盟していた同好会の学生団体の役員も務め、さまざまな大会の運営や企画に着手。当時、同好会に注がれていた周囲の目は体育会と異なり厳しく、私は複数のスポーツメーカーに大会によっては数千万もする運営費を出していただいている関係上、イメージを向上させることが課題でした。毎年夏に開催される全国大会は注目度が高く、この大会でのモラルを高めることがイメージアップにつながると判断。不適切な格好で試合を観戦する男子学生に、暑くてもシャツを着るように注意を促すなど、当たり前のことを徹底したのを覚えています。イメージが好転すると、大会冊子の広告出稿の依頼などにも快諾してくださる企業が増えたのではないかでしょうか。企業との折衝の難しさを肌で学んだ4年間でした。

2011年3月、私は盛岡営業所に勤務していました。停電で開いているお店が全くない状況にもかかわらず、大勢の人がお店に殺到。電気が通っていないので、お店は商品を発注することができません。私は直接お店に赴き、担当者と相談して、対応できる商品から納入すること始めました。仕事には、お客さまとの適切な距離感をつかむことが大切ではないでしょうか。一方的に商品を売り込むのではなく、お客さまが望んでいることをくみ取り、お客さまに合わせた歩み寄りが重要です。盛岡営業所に異動後、東京に比べ東北には全体的に保守的な部分があることを感じ、コミュニケーションから来た人を一度は拒む傾向があることがわかりました。大学時代、同好会の学生団体の役員を務めたことで、さまざまな人とコミュニケーションを取る機会がありました。人との付き合い方を学んだ学生生活が、社会人としての基礎を築いてくれたと実感しています。



木村 昭仁 さん
経営情報学部 1996年3月卒業
株式会社美多加堂

■多摩大学院同窓会

多摩大学大学院同窓会会員数 807名(2014年4月末)

会長	武井 一徳	21期
副会長	古木 憂一郎	15期
副会長	坂西 元	24期
副会長兼事務局長	野津 聰	22期
事務局次長	菊池 しのぶ	4期

事務局次長	小檜山 央子	22期
事務局次長	野上 真理子	24期
事務局次長	堂本 尚司	28期
理事	福重 広文	11期
理事	池田 譲	15期

■「TTS AMBITION 2011」開催

東日本大震災から半年経過した平成23(2011)年9月10日、品川サテライトキャンパスにて、学部・大学院の枠を越えて多くの同窓生が一堂に会し、日本の再興に向けて今できることは何かを考える場として、寺島実郎学長の特別講演会を行いました。



■本音で語り合える仲間との出会いが一生の財産

新卒で会社に入社し10年もたつと、仕事でつきあう人も限られ、自分の仕事の仕方にも疑問を持たなくなっていました。

企業派遣で多摩大学大学院に通うことになりましたが、普段、知り合うことのできないさまざまな業界や職種の人と出会うことができ、自分の視野の狭さに気づかされました。実際に自分より若い方と接することで仕事のやり方を改めたところもあります。

学生同士で「将来、こんな事業をしたい」「会社をこんなふうに良くしたい」と高い志を持つ人たちが集まり、将来の夢を実現するため、お互いに切磋琢磨し、議論し合えたことが何より貴重な体験でした。

今も、ともに学んだ仲間たちとの交流は続いています。

仕事の仕方や異業種の仕組みなど、わからないことがあつたら気兼ねなく教え合える雰囲気もよかったです。本音で言い合える仲間たちとの出会いは、私にとってかけがえのない財産です。私も大学院に来たことで、会社で実現する夢を見つけることができました。勤めている会社をより成長させるために、いろいろなことにチャレンジできる、風通しの良い企业文化を作れないかと考えたのです。

修士論文では、大学院で学んだ方法論をもとに、社員と直接対話し、職場の“不”(不満など)や理想像を吸い上げ、創業者(現ファンケルグループCEO)に提出いたしました。「こんなふうに社員が感じていたなんて目からウロコの話が多かった」と創業者から感謝の言葉をいただき、今は企業風土を改善するためさまざまな取り組みが始まりました。

日々の業務に追われ、大きな目標を見失いかちな企業人に、刺激になる大学院だと思います。



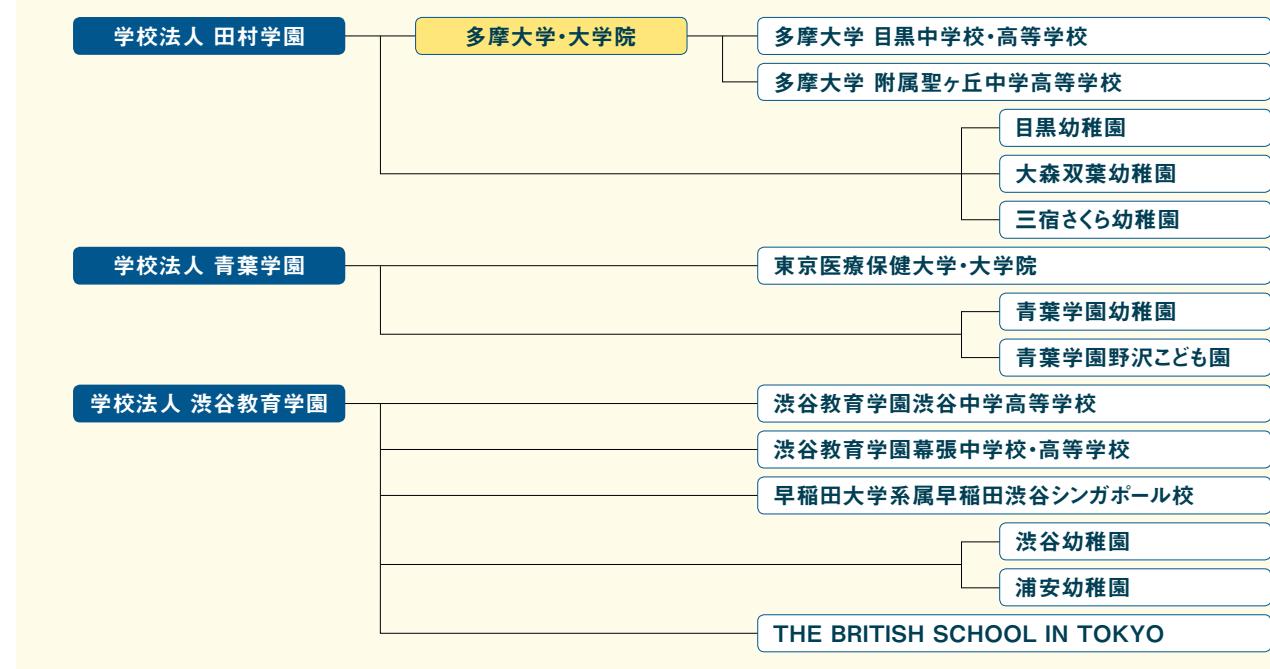
遠藤 理央 さん
大学院 2014年3月修了
株式会社ファンケル



田村学園概要図

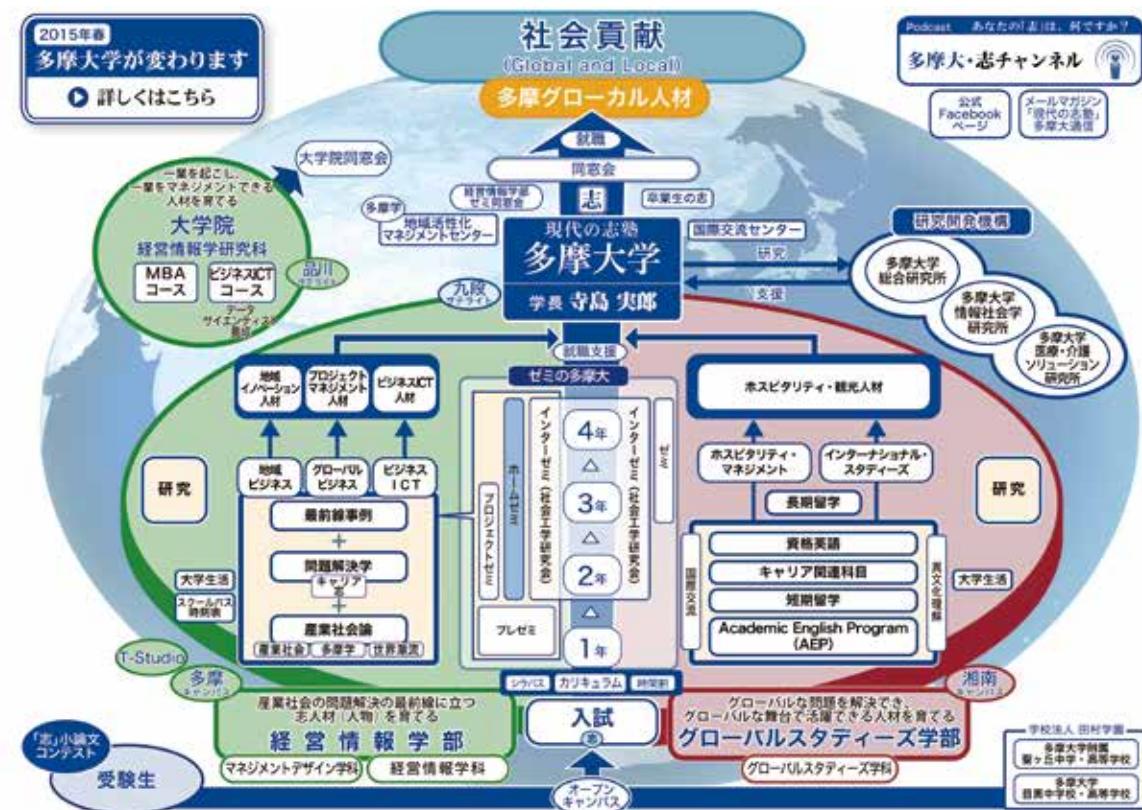
田村学園は学園建学の精神「質実清楚・明朗進取・感謝奉仕」を礎とし、生徒、学生一人ひとりの豊かな個性を伸ばし、国際感覚ある、心豊かな人材の育成を目指しています。

■田村学園グループ組織図(関連校)



多摩大学組織概念図

<http://www.tama.ac.jp/>



多摩大学研究開発機構

多摩大学研究開発機構は、社会との連携が不可欠となった複合的な研究教育環境に対応して、学内の研究活動の有機的統合を図りつつ、学外との高度な共同研究・教育を実現し、産官学の研究交流、教育交流の成果を大きく挙げることを目的としています。

多摩大学総合研究所 <http://www.tama.ac.jp/research/ord/tmuri.htm>

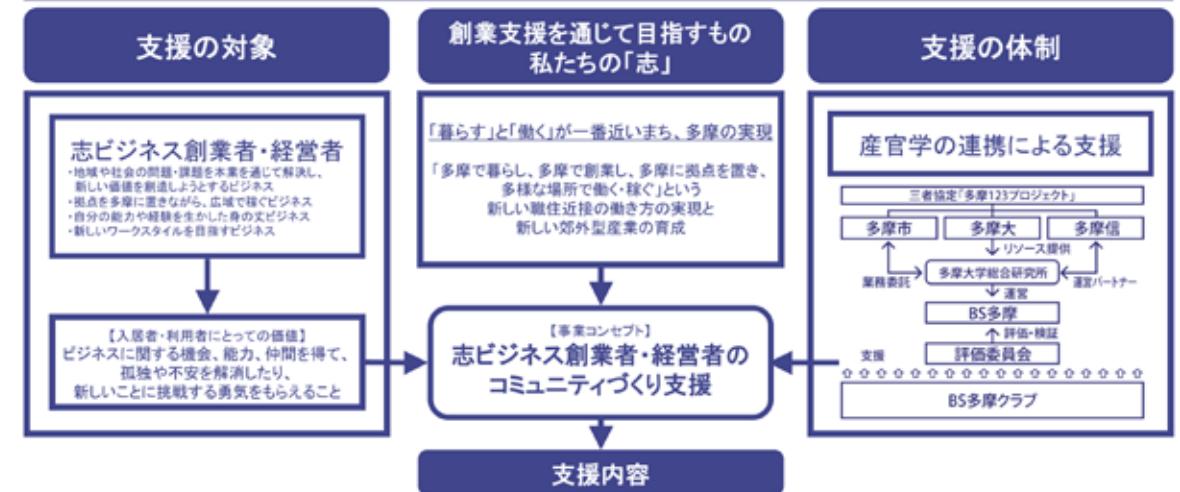
所長 久恒啓一

多摩大学総合研究所は、行政や産業界との協力関係の確立と維持が多摩大学の重要な基本戦略として、平成元（1989）年の開学と同時に設立されました。人口減少社会、情報化社会、グローバル社会において、未来の構想を実現しようとする多様な「事業」の実践者を支えるというミッションのもと、全学的な研究開発機関として、国際性、学際性、実際性に貫かれた総合的な研究、教育活動を通じて、産学連携等の社会貢献、地域貢献を行います。

ビジネススクエア多摩 <http://bstama.jp/>

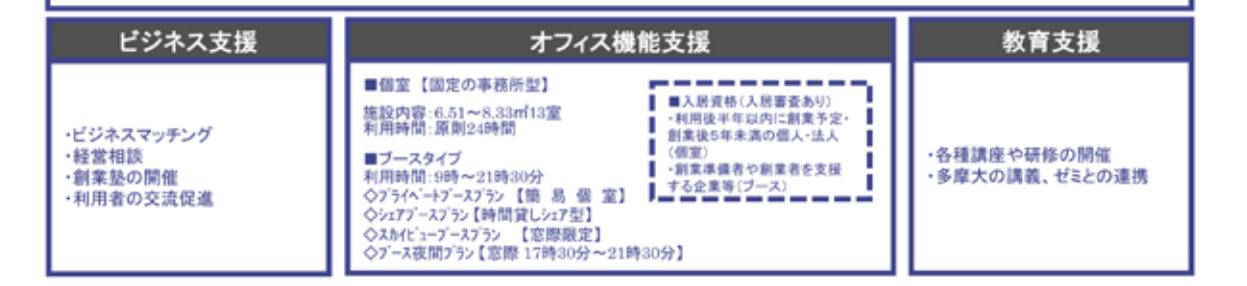
多摩大学総合研究所は、多摩市、多摩大学、多摩信用金庫の3者協定のもと、創業支援施設「ビジネススクエア多摩」を多摩市からの委託で運営しています。

多摩市創業支援事業の全体像



ビジネススクエア多摩 の運営

■場所：ベルブ永山403号室(255.6m²) 京王・小田急永山駅徒歩3分
■施設什様：個室13、ブース19、座卓室、交流室など設置。



医療・介護ソリューション研究所

<http://www.tama.ac.jp/research/ord/iri.html> 所長 真野俊樹

医療や介護の分野は成長分野とされ、大きなビジネスチャンスを創出するとともに、それに対応できるリスク感覚に鋭敏な事業経営者の創出を必要とする。これらのニーズに対し、適格な高度教育メニューを供し、それに関連する諸事業を展開。

情報社会学研究所

<http://www.tama.ac.jp/research/ord/ni.html>

情報社会を対象とする総合的な社会科学のディシプリンとして「情報社会学」の調査研究と出版を進め、21世紀の新しい社会科学の研究と実践活動の先進例を展開。

■在籍学生数

■経営情報学部

学年	経営情報学科		マネジメントデザイン学科		計		
	男	女	男	女	男	女	計
4	109	14	103	58	212	72	284
3	206	31	126	43	332	74	406
2	211	27	104	26	315	53	368
1					310	44	354
合計			1169	243	1412		

■収容定員

■経営情報学部	800名
・経営情報学科	800名
・マネジメントデザイン学科	480名
■グローバルスタディーズ学部	600名
・グローバルスタディーズ学科	600名
■大学院 経営情報学研究科 経営情報学専攻	120名
・修士課程	120名
・博士課程	30名

■マネジメント体制

■多摩大学 組織責任者	寺島 実郎
学長	寺島 実郎
副学長	諸橋 正幸
経営情報学部長・事業構想学科長※	久恒 啓一
経営情報学部 経営情報学科長	今泉 忠
グローバルスタディーズ学部長	ウイリアム シャング(安田震一)
大学院経営情報学研究科長	徳岡 晃一郎
学長室長	中庭 光彦
メディア&インフォメーションセンター長	志賀 敏宏
地域活性化マネジメントセンター長	諸橋 正幸
国際交流センター長	ウイリアム シャング(安田震一)
事務局長(兼湘南キャンパス事務長)	宮地 隆夫
事務局次長(兼多摩キャンパス事務長)	矢内 彰
※届出設置書類提出中	
■多摩大学研究開発機構 組織責任者	
多摩大学研究開発機構長	田村 嘉浩
多摩大学総合研究所長	久恒 啓一
多摩大学情報社会学研究所長	公文 俊平
多摩大学医療・介護ソリューション研究所長	真野 俊樹

■学費等納入金

■経営情報学部

	初年度納入金		2年次以降学費納入金	
	入学手続時	10月	4月	10月
入学金	300,000円	—	—	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
施設費	230,000円	—	230,000円	—
施設拡充費	50,000円	—	—	—
図書教材費	30,000円	—	30,000円	—
後援会入会金	20,000円	—	—	—
後援会年会費	20,000円	—	20,000円	—
同窓会年会費	20,000円	—	—	—
合計	1,020,000円	350,000円	630,000円	350,000円
年次別年間納付額	1,370,000円		980,000円	

■グローバルスタディーズ学部

学年	グローバルスタディーズ学部		
	男	女	計
4	89	69	158
3	70	67	137
2	78	62	140
1	72	52	124
合計	309	250	559

■大学院 経営情報学研究科

学年	大学院 経営情報学研究科		
	男	女	計
修士	69	39	108
博士	1	0	1
合計	70	39	109

多摩大学の経営母体である学校法人田村学園の最新の概要は以下のとおりです。

学校法人 田村学園 貸借対照表

[平成26年3月31日(平成25年度)]

(単位 百万円)

資産の部	科 目	前年度末	本年度末	増 減
固定資産	22,042	21,858	△184	
有形 固定 資産	20,415	20,135	△280	
土地	11,992	11,746	△246	
建物	7,235	6,856	△379	
その他	1,188	1,533	345	
その他の固定資産	1,627	1,723	96	
借地権	0	0	0	
第2号基本金引当資産	1,400	1,500	100	
その他	227	223	△4	
流動資産	4,492	4,554	62	
現金預金	3,098	2,983	△115	
その他	1,394	1,571	177	
資産の部合計	26,534	26,412	△122	
負債の部	科 目	前年度末	本年度末	増 減
固定負債	346	349	3	
長期借入金	2	1	△1	
退職給与引当金	344	348	4	
長期未払金	0	0	0	
流动負債	1,159	1,009	△150	
短期借入金	1	1	0	
前受金	756	684	△72	
その他	402	324	△78	
負債の部合計	1,505	1,358	△147	
基金の部	科 目	前年度末	本年度末	増 減
第1号 基本金	28,755	28,709	△46	
第2号 基本金	1,400	1,500	100	
第3号 基本金	92	92	0	
第4号 基本金	397	397	0	
基金の部合計	30,644	30,698	54	
消費収支差額の部	科 目	前年度末	本年度末	増 減
消費支出準備金	0	0	0	
翌年度繰越消費支出超過額	△5,615	△5,644	△29	
消費収支差額の部合計	△5,615	△5,644	△29	
科 目	前年度末	本年度末	増 減	
負債の部、基金の部、及び 消費収支差額	26,534	26,412	△122	

平成25年度 学校法人 田村学園 計算書類 抜粋

〈資金収支〉

資金収入	(単位 百万円)
学生生徒等納付金収入	3,672
手数料収入	71
寄付金収入	58
補助金収入	1,156
資産運用収入	40
事業収入	151
雑収入	148
その他	28
前年度繰越支払資金	3,098
合計	8,422

〈消費収支〉

消費収入	(単位 百万円)
学生生徒等納付金	3,672
手数料	71
寄付金	58
補助金	1,156
資産運用	23
事業収入	151
雑収入	148
帰属収入合計	5,279
基本金組入額	△100
合計	5,179

消費支出	

<tbl_r cells="2" ix="3" maxcspan="

キャンパス紹介

経営情報学部の多摩キャンパス、グローバルスタディーズ学部の湘南キャンパスと、品川サテライト、九段サテライトの4つのキャンパスで、学生は学びを深めています。



湘南キャンパス

[グローバルスタディーズ学部]

近代的な造形に彩られた湘南キャンパス。
鎌倉や湘南に近い湘南台は、多くの新しい大学が集積した学園都市です。



品川サテライト

[大学院]

品川駅東口の高層ビル、「品川インターナシティ」。その中のインターナシティフロントビル5階に多摩大学品川サテライトがあります。大学院の拠点であり、学生が就職活動の合間に立ち寄ったり、ゼミ活動などでも活用されています。産業界で活躍する多忙な方を招いての特別講義のプログラムも開講されています。



九段サテライト

[インターナシミ(学部・大学院)]

九段サテライトは、都心サテライトの1つとして九段北1丁目という江戸時代に滝沢馬琴が「南総里見八犬伝」を書いた場所でもあり、さまざまな史跡と神田神保町・古書街にも近い九段下駅より徒歩3分の場所にあります。毎週土曜日開講のインターナシミをはじめ同窓会活動や各種知的活動の拠点となっています。



アクセスマップ

<http://www.tama.ac.jp/info/guide.html>

[電車利用案内]

多摩キャンパス

- 京王線 ● 新宿 → 聖蹟桜ヶ丘 … [特急]25分
- 京王線 ● 新宿 → 永山 …… [特急・急行]26分
- 小田急線 ● 町田 → 永山 …… [急行]17分
- 小田急線 ● 表参道 → 永山 …… [多摩急行・東京メトロ千代田線直通]36分

※所要時間は最短時間です。待ち時間、乗り換え時間が含まれません。
※日時・交通状況などにより所要時間が変わりますので、必ず最新情報をご確認ください。

湘南キャンパス

- 小田急江ノ島線 ● 新宿 → 湘南台 … 50分
- 町田線 ● 町田 → 湘南台 … 19分
- 横浜線・小田急江ノ島線 ● 八王子 → 湘南台 … 43分
- 相模鉄道いずみ野線 ● 横浜 → 湘南台 … 31分



▼授業期間中はスクールバスを運行(無料)。運行状況はお問い合わせください。

多摩キャンパス 経営情報学部・大学院

〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1
TEL 042-337-1111(代) FAX 042-337-7100

- 京王線・小田急線「永山」駅 バス乗り場 2番
聖蹟桜ヶ丘駅【桜06】/聖ヶ丘団地【永34】(10分)→「多摩大学」下車
- 京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅 バス乗り場 12番
永山駅【桜06】(12分)→「多摩大学」下車



品川サテライト 大学院

〒108-0075 東京都港区港南2-14-14 品川インターナシティフロント5階
TEL 03-5769-4170

湘南キャンパス グローバルスタディーズ学部

〒252-0805 神奈川県藤沢市円行802番地
TEL 0466-82-4141(代) FAX 0466-82-5070

- 小田急江ノ島線・相模鉄道いずみ野線・横浜市営地下鉄
「湘南台」駅下車、徒歩12分
- 小田急江ノ島線「六会大前」駅下車、徒歩12分



九段サテライト インターナシミ(学部・大学院)

102-0073 東京都千代田区九段北1-9-17
TEL 03-3264-1851 ※不在時はTEL.042-337-7300(学長室)